年間授業計画

高等学校 令和８年度（３学年用） 教科　国語　　科目　論理国語

教　科：国語　　科　目：論理国語　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　3 学年　1 組～　6 組

教科担当者：

使用教科書：（ 新編論理国語/大修館書店 ）

教科　国語　　の目標：

【 知 識 及 び 技 能 】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚を持ち、生涯にわたり国語を重視してその能力の向上を図る態度を養う。

科目　論理国語　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身につけるようにする。	論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようになる。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域 話・聞	領域 書	領域 読	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	1　自己を見つめて ○探究する力 ○補助線を引きながら考える ○フォーカス　自分を客観的に見つめよう ・異なる立場の文章を比べて読み、考えを深める。 ・具体例の役割や根拠に注意しなが	○教材 ・教科書　新編論理国語（大修館書店） ・授業プリント ・一人１台端末 ・意味から学ぶ常用漢字（第一学習社） ・必携国語（第一学習社）	○	○	○	【知識・技能】 ・自らの考えを論証するために必要な語句の働きを理解し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。［(1)イ］ 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、論理の展開などを的確に	○	○	○	14
	定期考査						○	○		1
	2　思考を深める ○和の思想、間の文化 ○ミロのヴィーナス ・筆者の主張と、それを支える根拠の関係を吟味する。 ・論の展開のしかたや具体例の役割について考える。 3　社会に向かって	○教材 ・教科書　新編論理国語（大修館書店） ・授業プリント ・一人１台端末 ・意味から学ぶ常用漢字（第一学習社） ・必携国語（第一学習社）	○	○	○	【知識・技能】 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。［(1)イ］ ・主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深めている。［(2)ア］ 【思考・判断・表現】	○	○	○	14
	定期考査						○	○		1
2学期	4　視点を変えて ○人類の進化から考える「心」の誕生 ○ロボットに心はあるか ・複数の文章を比較・分析しながら読むことで、あるテーマについての考えを深める。 ・一つのテーマについて、複数の視	○教材 ・教科書　新編論理国語（大修館書店） ・授業プリント ・一人１台端末 ・意味から学ぶ常用漢字（第一学習社） ・必携国語（第一学習社）	○	○	○	【知識・技能】 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。［(1)イ］ 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章や	○	○	○	14
	定期考査						○	○		1
	6　現代を考える ○政治の本質 ○「である」ことと「する」こと ・筆者の主張をふまえて、現代社会についての考えを深める。 ・対比の役割を意識して本文を読み、筆者の主張を的確につかむ。 5　問いを深めて書く―小論文②	○教材 ・教科書　新編論理国語（大修館書店） ・授業プリント ・一人１台端末 ・意味から学ぶ常用漢字（第一学習社） ・必携国語（第一学習社）	○	○	○	【知識・技能】 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。［(1)イ］ 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章や	○	○	○	14
	定期考査						○	○		1
3学期	7　未来に目を向けて ○人口減少社会の到来 ・日本社会や世界が抱える課題に関心をもち、考えを広げたり深めたりする。 ・さまざまな資料を参照しながら文章を読み、筆者の考えをとらえる。	○教材 ・教科書　新編論理国語（大修館書店） ・授業プリント ・一人１台端末 ・意味から学ぶ常用漢字（第一学習社） ・必携国語（第一学習社）	○	○	○	【知識・技能】 ・自らの主張を論理的に述べるために必要な語句に目を向け、文章の中での使われ方を理解することをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。［(1)イ］ ・論理の展開において、主張と主張の根拠となる資料との関係について理解を深めている。［(2)ア］	○	○	○	12
	8　レポートを書く ○情報を整理しよう ○レポートをまとめよう ・読者を意識し、構成や記述に配慮しながら、読みやすくわかりやすいレポートを書く。	○教材 ・教科書　新編論理国語（大修館書店） ・授業プリント ・一人１台端末 ・意味から学ぶ常用漢字（第一学習社） ・必携国語（第一学習社）	○	○	○	【知識・技能】 ・レポートの効果的な組み立て方について理解している。［(1)ウ］ 【思考・判断・表現】 ・「書くこと」において、読者を意識し、効果的な構成や記述を工夫してレポートを書いている。［A(1)エ］ ・「書くこと」において、文章の構成や展開、表現のしかた、レイアウトやデザインについて、読みやすくわかりやすいレポートになっているかどうか吟味し、レポート全体を	○	○	○	12
	定期考査						○	○		1
										合計 70

年間授業計画

高等学校 令和8年度（2学年用） 教科　国語　科目　文学国語

教　科：　国語　　科　目：　文学国語　　単位数：　　単位
対象学年組：第　2 学年　1 組～　6 組
教科担当者：
使用教科書：（　数研出版「文学国語」　）
教科　国語　の目標：
【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。
【思考力、判断力、表現力等】言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしている。
【学びに向かう力、人間性等】創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。
科目　文学国語　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。	「書くこと」「読むこと」の各領域において、深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもとうとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域 話・聞	書	読	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	A　単元「無用の人」（原田マハ） ・「私」が今は亡き「父」から送られてきた「鍵」の意味を理解していく過程を読み取り、表現の工夫について考察する。	・内容や構成、展開、場面設定や描写の仕方、表現の特色などを的確に捉え、内容を解釈する方法を学ぶとともに、解釈の多様性について考察する姿勢を養う。 ・作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉える方法を学ぶとともに、作品の解釈を踏まえて、人間、社	○	○	○	【知識・技能】 ・情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、設定した題材に関連する複数の作品などを基に、自分のものの見方、感じ	○	○	○	10
	B　単元「永訣の朝」（宮沢賢治） ・詩の中の自然の描かれ方に注目し、「いもうと」と「わたくし」それぞれの心情を想像しながら味わう。	・内容や構成、展開、場面設定や描写の仕方、表現の特色などを的確に捉え、内容を解釈する方法を学ぶとともに、解釈の多様性について考察する姿勢を養う。	○	○	○	【知識・技能】 ・情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して、内容を解釈している。 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	5
	B 単元 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 ・教材 ・一人１台端末の活用　等		○			○	○	○	8
	定期考査						○	○		1
	C　単元「山月記」（中島敦） ・表現の特徴が作品に及ぼす効果を考え、人が虎になるという怪異の意味を踏まえて作品の主題を考える。 ・李徴が虎になった経緯、自己の内面の分析、心情の変化を読み取る。	・内容や構成、展開、場面設定や描写の仕方、表現の特色などを的確に捉え、内容を解釈する方法を学ぶとともに、解釈の多様性について考察する姿勢を養う。 ・作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉える方法を学ぶとともに、作品の解釈を踏まえて、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深める姿勢を養う。	○	○	○	【知識・技能】 ・情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確にとらえている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・人間が虎になるという設定の効果について粘り強	○	○	○	10
	定期考査						○	○		1
2学期	D 単元「ナイン」（井上ひさし） ・登場人物の発言から表に現れない心情を読み取り、人間の関係性の深浅について考察する。	・内容や構成、展開、場面設定や描写の仕方、表現の特色などを的確に捉え、内容を解釈する方法を学ぶとともに、解釈の多様性について考察する姿勢を養う。 ・作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉える方法を学ぶとともに、作品の解釈を踏まえて、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深める姿勢を養う。	○	○	○	【知識・技能】 ・情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉えるとともに、作品が成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、作品の解釈を深めている。 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	10
	E　単元「山椒魚」（井伏鱒二） ・山椒魚の行動や心情を読み解き、本小説に込められた寓意を踏まえ、人間のあり方について考える。	・内容や構成、展開、場面設定や描写の仕方、表現の特色などを的確に捉え、内容を解釈する方法を学ぶとともに、解釈の多様性について考察する姿勢を養う。 ・作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉える方法を学ぶとともに、作品の解釈を踏まえて、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深める姿勢を養う。	○	○	○	【知識・技能】 ・情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めている。 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	10
	定期考査						○	○		1
	F　単元「物語のおわり」（湊かなえ） ・物語の構成や登場人物の行動や内面の変化を的確にとらえ、小説を創作する。	・内容や構成、展開、場面設定や描写の仕方、表現の特色などを的確に捉え、内容を解釈する方法を学ぶとともに、解釈の多様性について考察する姿勢を養う。 ・作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉える方法を学ぶとともに、作品の創作活動を通して、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方考え方を深める姿勢を養う。。	○	○	○	【知識・技能】 ・言葉には〝想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。 【思考・判断・表現】 ・「書くこと」において、読み手の関心が得られるよう、文章の構成や展開を工夫している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・「物語のおわり」の中で『空の彼方』という小説がどのような機能を持っているかを踏まえ、学習課	○	○	○	10
	G　単元「赤い繭」（安部公房） ・登場人物の寓意と論理を読み取り、自己の常識的な観念を相対化する。	・内容や構成、展開、場面設定や描写の仕方、表現の特色などを的確に捉え、内容を解釈する方法を学ぶとともに、解釈の多様性について考察する姿勢を養う。 ・作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉える方法を学ぶとともに、作品の解釈を踏まえて、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深める姿勢を養う。	○	○	○	【知識・技能】 ・人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方を踏まえ、解釈の多様性について考察している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・作品に込められた寓意を粘り強く考察し、これま	○	○	○	10
	定期考査						○	○		1
3学期	H　単元「こころ」（夏目漱石） ・語りにおける心情表現や比喩表現、また登場人物の行動の意味を読み解いていく。	・内容や構成、展開、場面設定や描写の仕方、表現の特色などを的確に捉え、内容を解釈する方法を学ぶとともに、解釈の多様性について考察する姿勢を養う。 ・作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉える方法を学ぶとともに、作品の解釈を踏まえて、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深める姿勢を養う。	○	○	○	【知識・技能】 ・文学的な文章における文体の特徴や修辞などの表現の技法について、体系的に理解を深め使用している。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方を踏まえ、解釈の多様性について考察している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・作品の主題を粘り強く考察し、これまでの学習を	○	○	○	15
	定期考査						○	○		1
										合計 70

年間授業計画

高等学校 令和8年度（2学年用） 教科　国語　科目 古典

教　科：　国語　　科　目：　古典　　単位数：　2　単位
対象学年組：第　2 学年　5 組～　6 組
教科担当者：
使用教科書：（ 第一学習社　高等学校　標準古典探究 ）
教科　国語　の目標：
【 知 識 及 び 技 能 】実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】伝え合う力を高め，自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
【学びに向かう力、人間性等】言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。
科目　古典　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通してものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとし、古典に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深めようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域 話・聞	領域 書	領域 読	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	単元　物語（一）『伊勢物語』「筒井筒」 【知識及び技能】 古典を読むために必要な語句の意味や用法を理解し、語感を磨き語彙を豊かにしている。 【思考力、判断力、表現力等】 平安朝の庶民にまつわる物語を読み、和歌を中心とした文章展開のおもしろさを味わっている。	・指導事項 和歌の修辞法に注意しながら，和歌の贈答や平安社会の文化について理解を深める。 ・教材 教科書 ノート ワークシート	○	○	○	・物語の中で和歌が果たしている役割を押さえながら、場面と登場人物の心情とを読み味わう。 ・歌物語という文章の種類や古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・歌物語の特徴について理解を深める。	○	○	○	8
	B 単元 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 ・教材 ・一人１台端末の活用　等		○			○	○	○	8
	定期考査						○	○		1
	単元　説話（一）『十訓抄』「文字一つの返し」 【知識及び技能】 古典を読むために必要な語句の意味や用法を理解し、語感を磨き語彙を豊かにしている。 【思考力、判断力、表現力等】 平安朝の著名な人物にまつわる説話を読み、制約のある中でふさわしい返歌をした成範の機転を味わっている。	・指導事項 口語訳のみに頼らず、文章展開の論理性、面白みについて理解を深める。 ・教材 教科書 ノート ワークシート	○	○	○	・平安朝の著名な人物にまつわる説話を読み、制約のある中でふさわしい返歌をした成範の機転を味わう。 ・説話という文章の種類や古典特有の表現に注意して、内容を的確に捉える。 ・編者の意図を捉えて内容を解釈し、構成や表現について評価する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・主に助動詞に関して、文語のきまりへの理解を深める。	○	○	○	10
	単元　随筆（一）『徒然草』「公世の二位のせうとに」 【知識及び技能】 古典の作品や文章の種類とその特徴について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 作者の鋭い観察眼を通して綴られた、世の諸事象に関する随筆を読ん	・指導事項 本文内容を踏まえて、当時の社会と無常観の在り方について理解を深める。 ・教材 教科書 古典文法ワーク ノート	○	○	○	・作者の鋭い観察眼を通して綴られた、世の諸事象に関する随筆を読んで、ものの見方・考え方を深める。 ・随筆という文章の種類や古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。 ・作者の意図を捉えて内容を解釈し、構成や表現について評価する。	○	○	○	12
	定期考査						○	○		1
2学期	単元　物語（二）『竹取物語』「かぐや姫の昇天」 【知識及び技能】 古典を読むために必要な語句の意味や用法を理解し、語感を磨き語彙を豊かにしている。 【思考力、判断力、表現力等】 平安初期に書かれた作り物語の場面設定や心理描写を読み味わい、その伝奇性を生んだ古代人の想像力を知ることができ	・指導事項 内容の読解だけでなく、文学史上の価値も踏まえて理解する。 ・教材 教科書 ノート ワークシート 古典文法ワーク	○	○	○	・平安初期に書かれた作り物語の場面設定や心理描写を読み味わい、その伝奇性を生んだ古代人の想像力に触れる。 ・伝奇的作り物語という文章の種類や古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。 ・作者の意図を捉えて内容を解釈し、構成や表現について評価する。 ・文章を読み、課題に応じて調査した成果をまとめたり発表したりする。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。	○	○	○	10
	定期考査						○	○		1
	単元　物語（三）『源氏物語』「光る君誕生（若紫）」 【知識及び技能】 古典を読むために必要な語句の意味や用法を理解し、語感を磨き語彙を豊かにしている。 【思考力、判断力、表現力等】 歌物語と作り物語の二つの系譜を受け継ぐ長編物語を読んで、人物造形や心理描写の一端を知ることができ	・指導事項 物語の読解にとどまらず、既習事項と文学史上の繋がりに対する理解を含める。 ・教材 教科書 古典文法ワーク 古文単語帳 ノート ワークシート	○	○	○	・歌物語と作り物語の二つの系譜を受け継ぐ長編物語を読んで、人物造形や心理描写の一端に触れる。 ・長編物語という文章の種類や古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・主として敬語表現に関する文語のきまりへの理解を深める。 ・今までの学習を生かして長編物語をよみ、	○	○	○	12
	定期考査						○	○		1
3学期	単元　故事成語「画竜点睛」 【知識及び技能】 古典を読むために必要な語句の意味や用法について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 現在使われている言葉の由来となった漢文を読み、漢文が日本語に与えた影響について理解している。 【学びに向かう力、人間性等】 故事成語の意味を進んで調査するととも	・指導事項 漢文の特色を知り，訓読のきまりを理解するとともに，故事成語に親しむ。 ・教材 教科書 ノート ワークシート	○	○	○	・現在使われている言葉の由来となった漢文を読み、漢文が日本語に与えた影響について理解を深める。 ・故事・寓話という文章の種類をふまえて、構成や展開を的確に捉える。 ・書き手の考えや目的を捉えて内容を解釈し、構成や表現について評価する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・訓読のきまりについて理解を深める。 ・故事成語の意味を進んで調査するとともに、その	○	○	○	6
	単元　故事成語「朝三暮四」 【知識及び技能】 古典を読むために必要な語句の意味や用法について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 現在使われている言葉の由来となった漢文を読み、漢文が日本語に与えた影響について理解している。 【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 知っている「故事成語」を答えさせ，その背景となる「寓話」に対する理解を深める。 ・教材 教科書 ノート	○	○	○	・現在使われている言葉の由来となった漢文を読み、漢文が日本語に与えた影響について理解を深める。 ・故事・寓話という文章の種類をふまえて、構成や展開を的確に捉える。 ・書き手の考えや目的を捉えて内容を解釈し、構成や表現について評価する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・訓読のきまりについて理解を深める。				7
	定期考査						○	○		1
										70

年間授業計画

高等学校 令和８年度（２学年用） 教科 地理歴史・公民科 科目 歴史総合

教　科：　地理歴史・公民科　　科　目：　歴史総合　　単位数：　2　単位
対象学年組：第　2 学年　　1 組 ～ 6 組
教科担当者：
使用教科書：（ 実教出版『歴史総合』 ）
教科　地理歴史・公民科　の目標：
【知識及び技能】　現代世界の地域的特色と歴史に関して、調査や諸資料から様々な情報を適切に調べまとめる技能を身に付ける。
【思考力、判断力、表現力等】　社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明することができる。
【学びに向かう力、人間性等】　我が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。
科目　歴史総合　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解する。	歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追求、解決しようとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	A 単元 ・「近代化」について考察する。 ・18 世紀の日本やアジア・ヨーロッパの結びつきを理解する。	第１章　近代化への胎動 ・江戸時代の日本と東アジア ・江戸時代の諸改革 ・幕政改革と東アジア ・「近代化」について考察する。	【知識・技能】 近代化に関わる史資料を読み解く技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】 「大航海時代」から「世界の一体化」へ至る交易の意義と地域の変容について考察し、自分の言葉で表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 中学校までの学習を踏まえて、見通しをもって学習に取り組み、問いを繰り返し洗練させていくなど、粘り強く取り組もうとする。	○	○	○	6
	B 単元 ・欧米で起こった市民革命・産業革命により、社会はどのように変化したか理解する。	第２章　欧米の市民革命 ・イギリスの産業革命とアメリカの独立 ・フランス革命 ・アメリカの発展 ・アヘン戦争と日本の開国	【知識・技能】 市民社会と国民国家の形成、資本主義社会と国際分業体制確立の経緯を理解している。 【思考・判断・表現】 市民革命および産業革命の経緯などから、諸改革の意義と現代社会との関わりを考察し、自分の言葉で表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 市民革命や産業革命が現代社会に与えた課題について、解決策を追究しようとする。	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
	C 単元 ・近代化が進むなかで、欧米諸国はどのような国家を形成していったのか理解する。	第３章　欧米諸国と日本の国家形成 ・イギリスとフランスの繁栄 ・明治政府の諸改革 ・日本のアジア外交と国境問題 ・自由民権運動	【知識・技能】 欧米諸国の進出によるアジア諸国の変容について理解している。 【思考・判断・表現】 アジア諸国の変容を比較・関連させて考察し、「西洋の衝撃」の歴史的意義について自分の言葉で表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 欧米諸国の進出とアジア諸国の変容が現代社会にどのような課題を生み出したかについて考察し、追究しようとする。	○	○	○	8
	D 単元 ・日本や東アジア諸国は、近代化を通じてどのように変化していったのか理解する。	第４章　帝国主義 ・帝国主義の時代へ ・日清戦争 ・日露戦争 ・日本の産業革命	【知識・技能】 明治維新とその後の日本の変化やアジア諸国の変容について理解している。 【思考・判断・表現】 明治維新の歴史的な意義について、現代の日本への影響と関連付けて考察し、自分の言葉で表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 明治維新やアジア諸国の変容が、現代社会にどのような課題を与えたかについて考察し、解決策を追究しようとする。	○	○	○	7
	定期考査			○	○		1
2学期	A 単元 ・第一次世界大戦は、日本を含む世界の人びとにとってどのような戦争になったのか理解する。	第５章　第一次世界大戦 ・第一次世界大戦 ・ロシア革命とソ連 ・米騒動 ・ワシントン体制	【知識・技能】 国際関係の視点を軸に、第一次世界大戦勃発時から終戦までの経緯と、参戦各国の社会の変化について理解している。 【思考・判断・表現】 第一次世界大戦の総力戦体制下において、列強の戦闘員・列強の非戦闘員・植民地や従属地域の人々が戦争に協力した目的について考察し、自分の言葉で表現ができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 勢力均衡に基づく国際秩序と大衆の戦争参加が、現在の社会に生み出した課題について考察し、解決策を追究しようとする。	○	○	○	8
	B 単元 ・欧米や日本など、世界各地に広まった大衆化とは、どのようなものだったのか理解する。	第６章①　経済危機 ・第一次世界大戦後 ・社会運動と普通選挙	【知識・技能】 ヴェルサイユ体制によって形成された国際秩序と、国際社会や各国に生じた政治・社会・文化の変化を理解している。 【思考・判断・表現】 新しい国際秩序と大衆社会の特徴について考察し、自分の言葉で表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ヴェルサイユ体制に基づく国際秩序の成立と大衆社会の到来が現代社会に生み出した課題を考察し、解決策を追究しようとする。	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
	C 単元 ・大衆は、どのようにして戦争を導いてしまったのか理解する。	第６章②　第二次世界大戦 ・世界恐慌と各国の対応 ・ファシズム ・満州事変と日中戦争 ・第二次世界大戦	【知識・技能】 世界恐慌への各国の対応が世界情勢に与えた影響と、ソ連のスターリン独裁の功罪について理解している。 【思考・判断・表現】 ファシズム体制の形成から終戦に至るまで、ドイツや日本で大衆がなぜ戦争に協力していったのか考察し、自分の言葉で表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 大衆の戦争への加担という問題を現代社会における課題としてとらえ、その解決策を追究しようとする。	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1

3学期	A 単元 ・第二次世界大戦を経て、国際秩序はどのように変化したのか理解する。	第７章　冷戦と脱植民地 ・朝鮮戦争と日本 ・植民地の独立 ・米ソ陣営	【知識・技能】 冷戦および冷戦構造の形成と、国連を中心とする平和へ向けた新たな国際秩序を日本と関連付けながら理解している。 【思考・判断・表現】 国際連合を中心に、第二次世界大戦以前と以後の国際関係を比較することで、戦争の経験が人々に何をもたらしたのか考察できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 大戦後に形成された冷戦構造と国際連合による平和維持体制が現代社会に与える影響について考察し、解決策を追究しようとする。	○	○	○	5
	B 単元 ・「グローバル化」について考察する。 ・冷戦が展開されるなかで、日本や世界の国々はどのような選択をしたのか理解する。	第８．９章　グローバル化 ・石油危機と世界経済 ・日本の経済大国化 ・地域紛争と対立	【知識・技能】 55 年体制の形成から高度経済成長に至る日本の動きを、冷戦下の国際情勢を踏まえながらその中に位置づけて理解している。 【思考・判断・表現】 冷戦下の日本と世界の動向について、政治・経済の関連や諸地域間の比較を通して多面的に考察し、自分の言葉で表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 冷戦期における各国の動向、現在の社会においてどのような課題を生み出したのか考察し、解決策について追究しようとする。	○	○	○	5
	定期考査			○	○		1
							合計 70

年間授業計画

高等学校 令和８年度（２学年用） 教科　数学　　科目 数学Ⅱ

教　科：　数学　　科　目：　数学Ⅱ　　単位数：　4　単位
対象学年組：第　2 学年　 1 組～　 6 組
教科担当者：
使用教科書：（ 新編　数学Ⅱ（数研出版）　　）
教科　数学　　の目標：　数学的な見方・考え方を働かせ，数学的活動を通して，数学的に考える資質・能力を次のとお
【 知 識 及 び 技 能 】数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，事象を数学化したり，数学的に解釈
【思考力、判断力、表現力等】数学を活用して事象を論理的に考察する力，事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察
【学びに向かう力、人間性等】数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しよう
科目　数学Ⅱ　　の目標：　いろいろな式，図形と方程式，指数関数・対数関数，三角関数及び微分・積分の考えについて理

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
いろいろな式，図形と方程式，指数関数・対数関数，三角関数及び微分・積分の考えについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	数の範囲や式の性質に着目し，等式や不等式が成り立つことなどについて論理的に考察する力，座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し，方程式を用いて図形を簡潔・明瞭・的確に表現したり，図形の性質を論理的に考察したりする力，関数関係に着目し，事象を的確に表現してその特徴を数学的に考察する力，関数の局所的な変化に着目し，事象を数学的に考察したり，問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	第１章　式と証明 第１節　式と計算 第２節　等式・不等式の証明 ・多項式の乗法・除法及び分数式の四則計算について理解できるようにする。 ・数の範囲や式の性質に着目し，等式や不等式が成り立つことを証明できるようにする。	１．３次式の展開と因数分解 ２．二項定理 ３．多項式の割り算 ４．分数式とその計算 ５．恒等式 ６．等式の証明 ７．不等式の証明	【知識・技能】 ・三次の乗法公式及び因数分解の公式を理解し，それらを用いて式の展開や因数分解をすることができる。 ・多項式の除法や分数式の四則計算の方法について理解し，簡単な場合について計算をすることができる。 【思考・判断・表現】 ・式の計算の方法を既に学習した数や式の計算と関連付け多面的に考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・実数の性質や等式の性質，不等式の性質などを基に，等式や不等式が成り立つことを論理的に考察し，証明することができる。	○	○	○	15
	第２章　複素数と方程式 第１節　複素数と２次方程式の解 ・方程式についての理解を深め，数の範囲を複素数まで拡張して2次方程式を解くことができるようにする。	１．複素数とその計算 ２．２次方程式の解 ３．解と係数の関係	【知識・技能】 ・数を複素数まで拡張する意義を理解し，複素数の四則計算をすることができる。 ・二次方程式の解の種類の判別及び解と係数の関係について理解することができる。 【思考・判断・表現】 ・二次方程式の解を学習した複素数と関連付け多面的に考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え，方程式を問題解決に活用することができる。	○	○	○	10
	定期考査			○	○	○	1
	第２節　高次方程式 ・剰余の定理や因数分解を利用して高次方程式を解くことができるようにする。	４．剰余の定理と因数定理 ５．高次方程式	【知識・技能】 ・因数定理について理解し，簡単な高次方程式について因数定理などを用いてその解を求めることができる。 【思考・判断・表現】 ・高次方程式の解の求め方を剰余の定理や因数分解と関連付け多面的に考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え，方程式を問題解決に活用することができる。	○	○	○	10
	第３章　図形と方程式 第１節　点と直線 第２節　円 ・座標や式を用いて，直線の性質や関係を数学的に表現し，その有用性を認識するとともに，事象の考察に活用できるようにする。 ・座標や式を用いて，円の性質や関係を数学的に表現し，その有用性を認識するとともに，事象の考察に活用できるようにする。	１．直線上の点 ２．平面上の点 ３．直線の方程式 ４．２直線の関係 ５．円の方程式 ６．円と直線 ７．２つの円	【知識・技能】 ・座標を用いて，平面上の線分を内分する点，外分する点の位置や二点間の距離を表すことができる。 ・座標平面上の直線や円を方程式で表すことができる。 【思考・判断・表現】 ・座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し，それを方程式を用いて表現し，図形の性質や位置関係について考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・数量と図形との関係などに着目し，日常の事象や社会の事象などを数学的に捉えることができる。	○	○	○	15
	定期考査			○	○	○	1

2学期	第３節　軌跡と領域 ・図形を，与えられた条件を満たす点の集合として認識するとともに，不等式を満たす点の集合が座標平面上の領域を表すことを理解し，それらを事象の考察に活用できるようにする。	8．軌跡と方程式 9．不等式の表す領域	【知識・技能】 ・軌跡について理解し，簡単な場合について軌跡を求めることができる。 ・簡単な場合について，不等式の表す領域を求めたり領域を不等式で表したりすることができる。 【思考・判断・表現】 ・コンピュータなどの情報機器を用いて軌跡や不等式の表す領域を座標平面上に表すことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・軌跡と領域の考えを問題解決に活用したり，解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすることができる。	○	○	○	10
	第４章　三角関数 第１節　三角関数 第２節　加法定理 ・角の概念を一般角まで拡張して，三角関数に関する様々な性質や式とグラフの関係について多面的に考察できるようにする。 ・加法定理を理解し，それらを事象の考察に活用できるようにする。	1．角の拡張 2．三角関数 3・三角関数のグラフ 4．三角関数の性質 5．三角関数を含む方程式，不等式 6．加法定理 7．加法定理の応用	【知識・技能】 ・角の概念を一般角まで拡張する意義や弧度法による角度の表し方について理解することができる。 ・三角関数の値の変化やグラフの特徴について理解することができる。 ・三角関数の相互関係などの基本的な性質を理解することができる。 ・三角関数の加法定理や 2 倍角の公式，三角関数の合成について理解することができる。 【思考・判断・表現】 ・三角関数に関する様々な性質について考察するとともに，三角関数の加法定理から新たな性質を導くことができる。 ・三角関数の式とグラフの関係について多面的に考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・二つの数量の関係に着目し，日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え，問題を解決したり，解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすることができる。	○	○	○	15
	定期考査			○	○	○	1
	第５章　指数関数と対数関数 第１節　指数関数 第２節　対数関数 ・指数関数について理解し，それらを事象の考察に活用できるようにする。 ・対数関数について理解し，それらを事象の考察に活用できるようにする。	1．指数の拡張 2．指数関数 3．対数とその性質 4．対数関数 5．常用対数	【知識・技能】 ・指数を正の整数から有理数へ拡張する意義を理解し，指数法則を用いて数や式の計算をすることができる。 ・指数関数の値の変化やグラフの特徴について理解することができる。 ・対数の意味とその基本的な性質について理解し，簡単な対数の計算をすることができる。 ・対数関数の値の変化やグラフの特徴について理解することができる。 【思考・判断・表現】 ・指数と対数を相互に関連付けて考察することができる。 ・指数関数及び対数関数の式とグラフの関係について，多面的に考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・二つの数量の関係に着目し，日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え，問題を解決したり，解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすることができる。	○	○	○	15
	第６章　微分法と積分法 第１節　微分係数と導関数 ・微分係数や導関数の意味について理解し，それらの有用性を認識するとともに，事象の考察に活用できるようにする。	1．微分係数 2．導関数とその計算 3．接線の方程式	【知識・技能】 ・微分係数や導関数の意味について理解し，関数の定数倍，和及び差の導関数を求めることができる。 【思考・判断・表現】 ・関数とその導関数との関係について考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・関数とその導関数との関係を用いて，問題を解決することができる。	○	○	○	20
	定期考査			○	○	○	1
3学期	第２節　関数の値の変化 第３節　積分法 ・導関数の理解を深めるとともに，導関数の有用性を認識できるようにする。 ・積分の考えについて理解し，それらの有用性を認識するとともに，事象の考察に活用できるようにする。	4．関数の増減と極大・極小 5．関数の増減・グラフの応用 6．不定積分 7．定積分 8．定積分と面積	【知識・技能】 ・導関数を用いて関数の値の増減や極大・極小を調べ，グラフの概形をかく方法を理解することができる。 ・不定積分及び定積分の意味について理解し，関数の定数倍，和及び差の不定積分や定積分の値を求めることができる。 【思考・判断・表現】 ・関数の局所的な変化に着目し，日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え，問題を解決したり，解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・微分と積分の関係に着目し，積分の考えを用いて直線や関数のグラフで囲まれた図形の面積を求める方法について考察することができる。	○	○	○	25
	定期考査			○	○	○	1
							合計 140

年間授業計画

高等学校 令和8年度（２学年用） 教科　数学　科目　数学B

教　科：　数学　　科　目：　数学B　　単位数：　2　単位
対象学年組：第　2 学年　1 組～　4 組
教科担当者：
使用教科書：（ 数研出版　新編数学B ）
教科　数学　の目標：　基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り，活用する態度を育てる。
【 知 識 及 び 技 能 】概念や原理・法則を理解し，事象を数学化したり，数学的に解釈したりし，表現・処理する技能を身に付けるようにする。
【思考力，判断力，表現力等】論理的に考察する力，他の事象との関係を認識し考察する力，数学的な表現を用いて事象を的確に表現する力を養う。
【学びに向かう力，人間性等】数学のよさを認識し，粘り強く考え判断しようとする態度，解決の過程を振り返って考察を深める態度を養う。
科目　数学B　の目標：　数列，統計的な推測について理解させ，基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り，数学のよさを認識できるようにするとともに，それらを活用する態度を育てる。

【知識及び技能】	【思考力，判断力，表現力等】	【学びに向かう力，人間性等】
数列，統計的な推測についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，数学と社会生活の関わりについて認識を深め，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	離散的な変化の規則性に着目し，事象を数学的に表現し考察する力，確率分布や標本分布の性質に着目し，母集団の傾向を推測し判断したり，標本調査の方法や結果を批判的に考察したりする力，日常の事象や社会の事象を数学化し，問題を解決したり，解決の過程や結果を振り返って考察したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	第１章　数列 第１節　等差数列と等比数列 数列やその一般項の表し方について理解する。また，基本的な数列として等差数列と等比数列を理解し，それらの和を求められるようにする。また，これらの数列を様々な事象の考察に役立てようとする姿勢を養う。	第１章　数列 第１節　等差数列と等比数列 １．数列と一般項 ２．等差数列 ３．等差数列の和 ４．等比数列 ５．等比数列の和	【知識・技能】 等差数列の和の公式を適切に利用して，数列の和が求められる。記号Σの意味と性質を理解し，数列の和が求められる。 【思考・判断・表現】 等差数列の項を書き並べて，隣接する項の関係が考察できる。等比数列の項を書き並べて，隣接する項の関係が考察できる。群数列を理解し，ある特定の群に属する数の和が求められる。 【主体的に学習に取り組む態度】 数の並び方に興味をもち，その規則性を発見しようとする意欲がある。等比数列の和を工夫して求める方法に興味をもち，等比数列の和の公式を導こうとする意欲がある。数列の規則性を，隣り合う2項の差を用いて発見しようとする。	○	○	○	8
	定期考査			○	○	○	1
	第２節　いろいろな数列 和の記号Σの表し方や性質を理解し，活用できるようにする。また，いろいろな数列について，その一般項や和を求めたり，和から一般項を求めたりできるようにする。	第２節　いろいろな数列 ６．和の記号Σ ７．階差数列 ８．いろいろな数列の和		○	○	○	10
	定期考査			○	○	○	1
2学期	第３節　漸化式と数学的帰納法 数列の帰納的な定義について理解し，漸化式から一般項が求められるようにするとともに，複雑な漸化式を既知のものに帰着して考えられるようにする。また，数学的帰納法の仕組みを理解し，様々な命題の証明に活用できるようにする。	第３節　漸化式と数学的帰納法 ９．漸化式 １０．数学的帰納法	【知識・技能】 漸化式の意味を理解し，具体的に項が求められる。数学的帰納法を用いて等式，不等式，自然数に関する命題を証明できる。確率変数の期待値，分散，標準偏差を求めることができる。二項分布に従う確率変数の期待値や分散を求めることができる。 【思考・判断・表現】 初項と漸化式を用いて数列を定義できることを理解している。自然数nに関する命題の証明には，数学的帰納法が有効なことを理解している。確率変数の期待値，分散，標準偏差などを用いて確率分布の特徴を考察することができる。確率変数の積の期待値や和の分散と確率変数の性質との相互関係がとらえられている。 【主体的に学習に取り組む態度】 おき換えや工夫を要する複雑な漸化式について，考察しようとする。数学的帰納法を利用して，いろいろな事柄を積極的に証明しようとする。2つの確率変数の和や積の期待値，分散に関する種々の公式を，確率変数が独立であるかどうかに注意しながら導こうとする。	○	○	○	14
	定期考査			○	○	○	1
	第２章　統計的な推測 第１節　確率分布 確率変数と確率分布について理解し，期待値や分散，標準偏差などを求めることを通じて，分布の特徴を把握できるようにする。また，連続型確率変数についても理解できるようにする。	第２章　統計的な推測 第１節　確率分布 １．確率変数と確率分布 ２．確率変数の期待値と分散 ３．確率変数の和と積 ４．二項分布		○	○	○	15
	定期考査			○	○	○	1
3学期	第２節　統計的な推測 母集団と標本，標本平均について理解し，特に標本平均については，それが確率変数であることを正しく理解した上で考察できるようにする。 また，母平均や母比率の推定，正規分布を用いた仮説検定ができるようにし，それらを日常の事象の考察や様々な判断に積極的に活用しようとする態度を育てる。	５．正規分布 ６．母集団と標本 ７．標本平均の分布 ８．推定 ９．仮説検定	【知識・技能】 確率密度関数や分布曲線の定義を理解し，連続型確率変数について，確率を求めることができる。標本平均が確率変数であることを理解している。 【思考・判断・表現】 正規分布を活用して現実のデータについて考察することができる。推定や信頼区間の考え方がわかる。 【主体的に学習に取り組む態度】 現実のデータが正規分布に近い分布になることがあることに興味をもち，様々なデータについて考察しようとする。母平均や母比率の推定に関心を示し，信頼区間の幅と標本の大きさや信頼度との関係を考察しようとする。	○	○	○	18
	定期考査			○	○	○	1
							合計 70

年間授業計画

高等学校 令和８年度（２学年用） 教科　理科　　科目 物理基礎

教　科：　理科　　科　目：　物理基礎　　単位数：　2　単位
対象学年組：第　2 学年　 1 組～　 6 組
教科担当者：
使用教科書：　（ 新編 物理基礎 （数研出版）　　）
教科　理科　　の目標：　科学的に探究する能力と態度を育てるとともに、科学的な自然観を育成する。
【 知 識 及 び 技 能 】科学が解明してきたことを理解し、その方法や意味を学ぶ。
【思考力、判断力、表現力等】論理的・科学的思考の仕方を習得すると共に人に伝える能力も高める。
【学びに向かう力、人間性等】本質を探究していく体験から主体的に学ぶ姿勢を育む。
科目　物理基礎　　の目標：　物理学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養う。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
物理基礎に関する知識の習得や知識の概念的な理解を目指し、実験操作の基本的な技術を習得する。	習得した「知識・技能」を活用して課題を解決できる思考力・判断力・表現力などを身につけていく。	知識・技能の習得や思考力・判断力・表現力などを身につける過程において、粘り強く学習に取り組み、自ら学習を調整しようとする力を身につけていく。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	第１編　運動とエネルギー 第１章　運動の表し方 【知識及び技能】 ・物体の速さの式、およびx－t図・v－ｔ図を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・速度の意味・表し方を理解し、物体の運動のようすを考えることができるにする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・日常の運動から、速さ、時間、進む距離についての関係に興味をもち、速さと速度の違いなどを理解しようとさせる。	・指導事項 基本的内容を問題演習を通して理解する。 ・教材 プリント・教科書・ワーク ・一人１台端末の活用　等 プリントをTEAMSを介して生徒に配布し、生徒は一人１台端末上で書き込んだり保存したりする。実験プリントについても、模範例を同様に配布し、生徒はそれを確認し理解する。	【知識及び技能】 ・物体の速さの式、およびx－t図・v－ｔ図を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・速度の意味・表し方を正しく理解し、それをもとに物体の運動のようすを考えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・日常の運動から、速さ、時間、進む距離についての関係に興味をもち、速さと速度の違いなどを理解している。	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
	第１編　運動とエネルギー 第２章　運動の法則 【知識及び技能】 ・物体にはたらく力が指摘できつりあいや運動方程式の式が立てられるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・作用・反作用とつりあいの違いを理解し、２力の間の関係について説明できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・物体の運動状態は、受ける力とどのような関係にあるかについて興味・関心をもち、理解しようとさせる。	・指導事項 基本的内容を問題演習を通して理解する。 ・教材 プリント・教科書・ワーク ・一人１台端末の活用　等 プリントをTEAMSを介して生徒に配布し、生徒は一人１台端末上で書き込んだり保存したりする。実験プリントについても、模範例を同様に配布し、生徒はそれを確認し理解する。	【知識及び技能】 ・物体にはたらく力が指摘でき、つりあいの式が立てられる。 ・運動をしている物体について、運動方程式を立てて考えることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・作用・反作用とつりあいの違いを理解し、２力の間の関係について説明できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・物体の運動状態は、受ける力とどのような関係にあるかについて興味・関心をもち、理解しようとしている。	○	○	○	7
	定期考査			○	○		1
2学期	第１編　運動とエネルギー 第３章　仕事と力学的エネルギー 【知識及び技能】 ・運動エネルギーの変化はされた仕事に等しいことを理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・物体の運動をエネルギーや仕事を通じて説明できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・運動している物体はどのようなエネルギーをもっているかについて興味をもち考えさせる。	・指導事項 基本的内容を問題演習を通して理解する。 ・教材 プリント・教科書・ワーク ・一人１台端末の活用　等 プリントをTEAMSを介して生徒に配布し、生徒は一人１台端末上で書き込んだり保存したりする。実験プリントについても、模範例を同様に配布し、生徒はそれを確認し理解する。	【知識及び技能】 ・運動エネルギーが$1/2\times mv^2$であることを理解している。 ・運動エネルギーの変化は物体にされた仕事に等しいことを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・運動エネルギーがどのようなものかを理解し、説明できる。 ・運動エネルギーの変化は物体にされた仕事に等しいことを用いて、物体の運動を説明できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・運動している物体はどのようなエネルギーをもっているかについて興味をもち考えようとしている。	○	○	○	8
	第２編　熱 【知識及び技能】 ・温度、熱運動、熱量、比熱、熱容量などを正しく理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・日常的な事象を、学習内容に照らし説明できるようにする。 ・温度や熱容量、比熱はどのような物理量か、自分の言葉で説明できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・ものの温まりやすさなど、熱にかかわる現象について興味関心をもち、理解させる。	・指導事項 基本的内容を問題演習を通して理解する。 ・教材 プリント・教科書・ワーク ・一人１台端末の活用　等 プリントをTEAMSを介して生徒に配布し、生徒は一人１台端末上で書き込んだり保存したりする。実験プリントについても、模範例を同様に配布し、生徒はそれを確認し理解する。	【知識及び技能】 ・温度、熱運動、熱量、比熱、熱容量などが正しく理解されている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・日常的な事象を、学習内容に照らし合わせて説明できる。 ・温度や熱容量、比熱はどのような物理量か、自分の言葉で説明できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・ものの温まりやすさなど、熱にかかわる現象について興味関心をもち、理解しようとしている。	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1
	第３編　波 【知識及び技能】 ・波の発生原理や基本事項、音の波としての性質を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・波の伝わるようすを、グラフで表現することができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・身近な波の現象に興味をもち、波の発生原理や基本事項について理解しようとさせる。	・指導事項 基本的内容を問題演習を通して理解する。 ・教材 プリント・教科書・ワーク ・一人１台端末の活用　等 プリントをTEAMSを介して生徒に配布し、生徒は一人１台端末上で書き込んだり保存したりする。実験プリントについても、模範例を同様に配布し、生徒はそれを確認し理解する。	【知識及び技能】 ・波の発生原理や基本事項、音の波としての性質を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・波の伝わるようすを、グラフで表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・身近な波の現象に興味をもち、波の発生原理や基本事項について理解しようとしている。	○	○	○	14
	定期考査			○	○		1
3学期	第４編　電気 【知識及び技能】 ・電流と電圧の基礎について理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・電気回路における、接続ごとの電流、電圧の大きさについて適切に理解しており、説明できるようにする。。 【学びに向かう力、人間性等】 ・日常で使う電気を踏まえて、ジュール熱や電力について、主体的に考えることができるようにする。	・指導事項 基本的内容を問題演習を通して理解する。 ・教材 プリント・教科書・ワーク ・一人１台端末の活用　等 プリントをTEAMSを介して生徒に配布し、生徒は一人１台端末上で書き込んだり保存したりする。実験プリントについても、模範例を同様に配布し、生徒はそれを確認し理解する。	【知識及び技能】 ・電流と電圧の基礎について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・電気回路における、接続ごとの電流、電圧の大きさについて適切に理解しており、説明できる。。 【学びに向かう力、人間性等】 ・日常で使う電気を踏まえて、ジュール熱や電力について、主体的に考えることができる。	○	○	○	18
	定期考査			○	○		1
							合計 70

年間授業計画

日本橋　高等学校 令和8年度（２学年用）　教科　理科　　科目　生物基礎

教　科：　理科　　科　目：　生物基礎　　単位数：　2　単位
対象学年組：第　2 学年　 1 組～　 6 組
教科担当者：
使用教科書：（ 改訂版　高等学校　生物基礎　数研出版　　）
教科　理科　　の目標：
【 知 識 及 び 技 能 】科学が解明してきたことを理解し、その方法や意味を学ぶ。
【思考力、判断力、表現力等】論理的・科学的思考の仕方を修得すると共に人に伝える能力も高める。
【学びに向かう力、人間性等】本質を探究していく体験から主体的に学ぶ姿勢を育む。
科目　生物基礎　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生物学の歴史や発見の経緯を理解し、生物の成り立ちのしくみを理解する。また、生物について探究していく方法も学ぶ。	事実や結果を基にして、本質を探ることを学び、考察する力を高める。また、自らの考えを人に伝える体験を通して表現力を養っていく。	興味や関心を基に自ら積極的に探究する経験から、主体的に学ぶ姿勢を育む。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	序章　生物学について：生物学の特性を理解させる 第１章　生物の特徴 第１節　生物の多様性と共通性：生物とは何かという概念をもたせる	・指導事項：基本知識の理解。思考を促し、回答を求める。また、実験や観察、課題に取り組ませる。 ・教材：教科書・プリント	【知識・技能】（生物学の範囲と特性）（多様性と共通性）を理解しているか 【思考・判断・表現】（生物学とはどのような学問であるか）（多様性と共通性）を考えて説明できるか 【主体的に学習に取り組む態度】・授	○	○	○	6
	第２節　細胞の構造：細胞の機能を支える仕組みを理解させる 第３節　エネルギーと代謝：代謝にとってエネルギーが重要なことを理解させる	・指導事項：基本知識の理解。思考を促し、回答を求める。また、実験や観察、課題に取り組ませる。 ・教材：教科書・プリント	【知識・技能】（細胞の機能をさせる仕組み）（エネルギーと代謝の関係）を理解しているか 【思考・判断・表現】（細胞が機能するために必要な仕組み）（エネルギーと代謝の関係）を考えて説明できるか	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1
	第４節　呼吸：呼吸の意味と仕組みを理解させる 第５節　光合成：光合成の意味と仕組みを理解させる	・指導事項：基本知識の理解。思考を促し、回答を求める。また、実験や観察、課題に取り組ませる。 ・教材：教科書・プリント	【知識・技能】（呼吸のしくみ）（光合成のしくみ）を理解しているか 【思考・判断・表現】　（呼吸のしくみ）（光合成のしくみ）を考えて説明できるか 【主体的に学習に取り組む態度】・授業に積極的に参加し探究する姿勢を示せているか・主体的に学ぶ取り組みをしているか	○	○	○	6
	第２章　遺伝子とそのはたらき 第１節　遺伝情報とＤＮＡ：ＤＮＡの構造と役割を理解させる 第２節　遺伝情報の複製と分配：複製のしくみを理解させる	・指導事項：基本知識の理解。思考を促し、回答を求める。また、実験や観察、課題に取り組ませる。 ・教材：教科書・プリント	【知識・技能】（呼吸のしくみ）（光合成のしくみ）を理解しているか 【思考・判断・表現】　（呼吸のしくみ）（光合成のしくみ）を考えて説明できるか 【主体的に学習に取り組む態度】・授業に積極的に参加し探究する姿勢を示せているか・主体的に学ぶ取り組みをしているか	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1
2学期	第３節　遺伝情報の発現：遺伝情報発現のしくみを理解させる 第３章　ヒトの体内環境の維持	・指導事項：基本知識の理解。思考を促し、回答を求める。また、実験や観察、課題に取り組ませる。 ・教材：教科書・プリント	【知識・技能】（遺伝情報発現のしくみ）（情報伝達と調節）を理解しているか 【思考・判断・表現】（遺伝情報発現のしくみ）（情報伝達と調節）を考えて説明できるか 【主体的に学習に取り組む態度】・授業に積極的に参加し探究する姿勢を示せているか・主体的に学ぶ取り組みをしているか	○	○	○	6
	第２節　体内環境の維持のしくみ：体内環境維持のしくみを理解させる	・指導事項：基本知識の理解。思考を促し、回答を求める。また、実験や観察、課題に取り組ませる。 ・教材：教科書・プリント	【知識・技能】（体内環境維持のしくみ）を理解しているか 【思考・判断・表現】（体内環境維持のしくみ）を考えて説明できるか	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1
	第３節　免疫のはたらき：免疫のはたらきを理解させる 第４章　生物の多様性と生態系	・指導事項：基本知識の理解。思考を促し、回答を求める。また、実験や観察、課題に取り組ませる。 ・教材：教科書・プリント	【知識・技能】（免疫のはたらき）（植生の遷移）を理解しているか 【思考・判断・表現】（免疫のはたらき）（植生の遷移）を考えて説明できるか	○	○	○	6
	第２節　植生の分布とバイオーム：植生分布とバイオームを理解させる	・指導事項：基本知識の理解。思考を促し、回答を求める。また、実験や観察、課題に取り組ませる。 ・教材：教科書・プリント	【知識・技能】（植生分布とバイオーム）を理解しているか 【思考・判断・表現】（植生分布とバイオーム）を考えて説明できるか	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1
3学期	第３節　生態系と生物の多様性：生態系と生物の多様性を理解させる 第４節　生態系のバランスと保全：生態系のバランスと保全を理解させる	・指導事項：基本知識の理解。思考を促し、回答を求める。また、実験や観察、課題に取り組ませる。 ・教材：教科書・プリント	【知識・技能】（生態系と生物多様性）（生態系のバランスと保全）を理解しているか 【思考・判断・表現】（生態系と生物多様性）（生態系のバランスと保全）を考えて説明できるか	○	○	○	17
	定期考査			○	○		1
						合計	70

高等学校 令和８年度（２学年用） 教科 保健体育 科目 体育

教　科：　保健体育　　科　目：　体育　　単位数：　3　単位
対象学年組：第　　2 学年　　1 組～　6 組
教科担当者：
使用教科書：（ 大修館書店　ステップアップ高校スポーツ2025 ）
教科　保健体育　　の目標：　心と体を一体としてとらえ、健康・安全や運動についての理解と運動の合理的、計画的な実践を通して、生涯に
【 知 識 及 び 技 能 】　各種の運動の特性の応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、
【思考力、判断力、表現力等】　運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、
【学びに向かう力、人間性等】　生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度
科目　体育　　の目標：　生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	【知識及び技能】 ・補強運動や各種目の基礎的な技を理解し正しく表現することができる。 ・スポーツテスト ・基本ルールや得点方法を理解させる。 ・ディスクの特性を理解し、状況に応じたスロー・キャッチができる。 ・ラケット操作に慣れ、クリア、ドロップ、スマッシュ等ができる。 ・入水前の準備運動等の徹底、ルールの厳守。クロール・平泳ぎ・背泳ぎの基本的な泳法を身につけさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・ネット型、ゴール型のボールゲームの特性を理解させる。 ・仲間と協力しながら学習カードに記入し、課題を見つける。 【学びに向かう力、人間性等】	・指導項目 からだつくり運動 アルティメット バドミントン 水泳 スポーツテスト ・教材 学習カード ・一人１台端末の活用 端末を利用し動画の視聴を行う	【知識・技能】 ・正しい泳法で完泳することができる。 ・用具の扱い方や安全な活動方法について理解している。 ・正しい姿勢や体の使い方を身につけ、安全に技を行うことができる。 ・ディスク操作やラケット操作等、基本的な技能を身に付け、ゲームの中で発揮している。 ・仲間と連携しながら、攻撃や守備に参加している。 【思考・判断・表現】 ・課題を見つけ、学習カードに記入することができる 仲間と課題を見つけ、その解決に向け協力して行動することができる 【主体的に学習に取り組む態度】 自ら積極的に考え発言できる 仲間と協力しながら意欲的に学習に取り組むこと	○	○	○	37
2学期	【知識及び技能】 ・正しい泳法で決められた距離を完泳する ・チェストパスやレイアップなどの個人技を身に付けさせる。 ・バッティングや送球などの個人技を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・ゴール型、ベースボール型の特性を理解させる。 ・チームで課題を見つけ課題解決に向けて意見交換を行う。 ・補強運動を身に付ける。 【学びに向かう力、人間性等】 ・仲間と協力しながら積極的に取り組ませる。 ・積極的に用具の整備や片づけを行う。	・指導事項 水泳 バスケットボール ソフトボール ・教材学習カード ・一人１台端末の活用 端末を利用し動画の視聴を行う	【知識・技能】 ・正しい泳法で完泳することができる。 ・用具の扱い方や安全な活動方法について理解している。 ・ボール操作や基本的な技能を身に付け、ゲームの中で発揮している。 ・仲間と連携しながら、攻撃や守備に参加している。 【思考・判断・表現】 ・課題を見つけ、学習カードに記入することができる 仲間と課題を見つけ、その解決に向け協力して行動することができる 【主体的に学習に取り組む態度】 自ら積極的に考え発言できる 仲間と協力しながら意欲的に学習に取り組むこと	○	○	○	38
3学期	【知識及び技能】 ・誰でも手軽に行える体力づくりの運動として、日常生活に活かせる方法を考えさせる。 ・持久走の特性や目的、体力向上との関係について理解させる。 ・効率よく走るためのペース配分や呼吸法について理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・記録や走行中の状態を踏まえ、よりよく走るための方法を考え、工夫させる。 ・自己の目標達成に向けて、走る距離や速度、呼吸の仕方などを選択・調整できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・自己の体力や健康状態に応じて、粘り強く持久走に取り組ませる。 ・自己の目標達成に向けて、積極的に練習や記	・指導事項 体育理論 持久走 ・教材 ワークシート 学習カード 記録カード 小テスト ・一人１台端末の活用 端末を利用し動画の視聴を行う	【知識・技能】 ・正しい走り方を身に付け、決められた距離を完走できる。 ・ペース配分や呼吸法、安全な運動方法について理解している。 ・自己の体力や目標に応じたペースで継続して走ることができる。 ・ワークシートに正しく書くことができる。 【思考・判断・表現】 ・仲間と課題を見つけ、その解決に向け協力して行動することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・自ら積極的に考え発言できる。 ・仲間と協力しながら意欲的に学習に取り組むことができる。	○	○	○	30 合計 105

年間授業計画

高等学校 令和8年度（2学年用） 教科 保健体育 科目 体育

教　科：　保健体育　　科　目：　体育　　単位数：　3　単位
対象学年組：第　2 学年　　1 組～　6 組
教科担当者：
使用教科書：（　大修館書店　ステップアップ高校スポーツ2025　）
教科　保健体育　の目標：　心と体を一体としてとらえ、健康・安全や運動についての理解と運動の合理的、計画的な実践を通して、生涯に
【 知 識 及 び 技 能 】　各種の運動の特性の応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、
【思考力、判断力、表現力等】　運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、
【学びに向かう力、人間性等】　生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度
科目　体育　の目標：　生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	【知識及び技能】 ・補強運動や各種目の基礎的な技を理解し正しく表現することができる。 ・スポーツテスト ・基本ルールや得点方法を理解させる。 ・ディスクの特性を理解し、状況に応じたスロー・キャッチができる。 ・ラケット操作に慣れ、クリア、ドロップ、スマッシュ等ができる。 ・入水前の準備運動等の徹底、ルールの厳守。クロール・平泳ぎ・背泳ぎの基本的な泳法を身につけさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・ネット型、ゴール型のボールゲームの特性を理解させる。 ・仲間と協力しながら学習カードに記入し、課題を見つける。 【学びに向かう力、人間性等】	・指導項目 からだつくり運動 アルティメット バドミントン 水泳 スポーツテスト ・教材 学習カード ・一人１台端末の活用 端末を利用し動画の視聴を行う	【知識・技能】 ・正しい泳法で完泳することができる。 ・用具の扱い方や安全な活動方法について理解している。 ・正しい姿勢や体の使い方を身につけ、安全に技を行うことができる。 ・ディスク操作やラケット操作等、基本的な技能を身に付け、ゲームの中で発揮している。 ・仲間と連携しながら、攻撃や守備に参加している。 【思考・判断・表現】 ・課題を見つけ、学習カードに記入することができる 仲間と課題を見つけ、その解決に向け協力して行動することができる 【主体的に学習に取り組む態度】 自ら積極的に考え発言できる 仲間と協力しながら意欲的に学習に取り組むこと	○	○	○	37
2学期	【知識及び技能】 ・正しい泳法で決められた距離を完泳する。 ・チェストパスやレイアップなどの個人技を身に付けさせる。 ・バッティングや送球などの個人技を身に付けさせる。 ・ダンスの基本的な動きやリズムの特徴を理解し、音楽に合わせて表現することができる。 ・動きの組み合わせやステップを身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・ゴール型、ベースボール型の特性を理解させる。 ・チームで課題を見つけ課題解決に向けて意見交換を行う。	・指導事項 水泳 バスケットボール ソフトボール ダンス ・教材学習カード ・一人１台端末の活用 端末を利用し動画の視聴を行う	【知識・技能】 ・正しい泳法で完泳することができる。 ・用具の扱い方や安全な活動方法について理解している。 ・ボール操作や基本的な技能を身に付け、ゲームの中で発揮している。 ・仲間と連携しながら、攻撃や守備に参加している。 【思考・判断・表現】 ・課題を見つけ、学習カードに記入することができる 仲間と課題を見つけ、その解決に向け協力して行動することができる 【主体的に学習に取り組む態度】 自ら積極的に考え発言できる 仲間と協力しながら意欲的に学習に取り組むこと	○	○	○	38
3学期	【知識及び技能】 ・誰でも手軽に行える体力づくりの運動として、日常生活に活かせる方法を考えさせる。 ・持久走の特性や目的、体力向上との関係について理解させる。 ・効率よく走るためのペース配分や呼吸法について理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・記録や走行中の状態を踏まえ、よりよく走るための方法を考え、工夫させる。 ・自己の目標達成に向けて、走る距離や速度、呼吸の仕方などを選択・調整できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・自己の体力や健康状態に応じて、粘り強く持久走に取り組ませる。 ・自己の目標達成に向けて、積極的に練習や記	・指導事項 体育理論 持久走 ・教材 ワークシート 学習カード 記録カード 小テスト ・一人１台端末の活用 端末を利用し動画の視聴を行う	【知識・技能】 ・正しい走り方を身に付け、決められた距離を完走できる。 ・ペース配分や呼吸法、安全な運動方法について理解している。 ・自己の体力や目標に応じたペースで継続して走ることができる。 ・ワークシートに正しく書くことができる。 【思考・判断・表現】 ・仲間と課題を見つけ、その解決に向け協力して行動することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・自ら積極的に考え発言できる。 ・仲間と協力しながら意欲的に学習に取り組むことができる。	○	○	○	30 合計 105

年間授業計画

高等学校 令和８年度（２学年用） 教科 保健体育 科目 保健

教 科： 保健体育 科 目： 保健 単位数： 1 単位
対象学年組：第 2 学年 1 組～ 6 組
教科担当者：
使用教科書： （ 大修館 ）
教科 保健体育 の目標： 心と体を一体としてとらえ、健康・安全や運動についての理解と運動の合理的、計画的な実践を通し
【知 識 及 び 技 能】課題の発見と必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探求の意義や価値を理解している
【思考力、判断力、表現力等】自分で課題を見つけ、自分で課題を立て、情報を集め、整理分析し、自らまとめ表現している
【学びに向かう力、人間性等】主体的・協働的に取り組もうとしているとともに、新たな価値を創造しよりよい社会を実現しようとしている
科目 保健 の目標： 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	単元 現代社会と健康 【知識及び技能】 ・思春期における体の変化や性意識、妊娠出産にについて理解する。 ・出産期に活用できるサービスについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・性意識の差にについて自分の考えをまとめグループ協議で発言する。 ・避妊法や人工妊娠中絶ついて自分の意見を表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・積極的に考え、言葉を通して他者に伝えようとする態度を養う。	・指導項目 思春期と健康 性への関心 欲求と性行動 妊娠・出産と健康 避妊法と人工妊娠中絶 結婚生活と健康 ・教材 スライド提示 ノート ワークシート ・一人１台端末の活用 端末を利用し動画の視聴を行う	【知識・技能】 ノート、ワークシートの記入が出来ているか 小テストから理解できる。 【思考・判断・表現】 自分の考えをグループワークで他者に伝えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 自ら積極的に考え発言できる。 日本の健康課題と社会状況との関わりについて、意欲的に学習に取り組むことができる。	○	○	○	13
2学期	単元 現代社会と健康 【知識及び技能】 ・様々な保健サービスや保健行政の役割について理解する。 ・環境汚染原因とその健康影響ついて正しく理解する。 ・ごみの処理現状について正しく理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・民間機関・国際機関などの保健活動や対策について表現できる。 ・大気汚染の原因とその健康影響を説明できる。地球規模の環境問題について，例をあげて説明できる。 ・働く人の健康問題と労働災害について説明できる。 【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 医療サービスとその活用 保健サービスとその活用 さまざまな保健活動や対策 大気汚染と健康 水質汚濁と健康 土壌汚染と健康 環境汚染を防ぐ取り組み ごみの処理と上下水道の整備 食品の安全を守る活動 働くことと健康 ・教材 ノート、ワークシート ・一人１台端末の活用 端末を利用し動画の視聴を行う	【知識・技能】 ノート、ワークシートの記入が出来ているか 小テストから理解できる。 【思考・判断・表現】 ・自らの生活習慣を見直し、獲得した知識から生活習慣を改善策を考え表現することができる。 ・精神疾患の特徴、発症、回復についての知識や技能を身に付けることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・自ら積極的に考え発言できる。 ・自身のの健康課題と生活習慣との関わりについて、意欲的に学習に取り組むことができる。				14
3学期	単元 現代社会と健康 【知識及び技能】 ・応急手当、心肺蘇生法について正しく理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・心肺蘇生法、AEDの使い方を身に付けることができる。 ・健康保持増進に向けて正しい生活を判断し行動選択する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 ・積極的に考え、言葉を通して他者に伝えようとする態度を養う。	・指導事項 応急手当の意義とその基本 日常的な応急手当 心肺蘇生法 調べ学習 ・教材 ノート、ワークシート ・一人１台端末の活用 パワーポイントを用いて、課題に応じたグループを作り、発表活動を行う 端末を利用し動画の視聴を行う	【知識・技能】 ノート、ワークシートの記入が出来ているか 小テストから理解できる。 【思考・判断・表現】 ・性感染症やエイズの課題や予防のための取り組みについて思考・判断し、それを表現することができる。 ・精神疾患の特徴、発症、回復についての知識や技能を身に付けることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・自ら積極的に考え発言できる。 ・日本の健康課題と社会状況との関わりについて、意欲的に学習に取り組むことができる。				8
							合計 35

年間授業計画

高等学校 令和８年度（２学年用） 教科　芸術　　科目 音楽Ⅱ

教　科：　芸術　　科　目：　音楽Ⅱ　　単位数：　2　単位
対象学年組：第　2 学年　　1 組～　4 組
教科担当者：
使用教科書：（ 教育芸術社　高校生の音楽② ）

教科　芸術　　の目標：
【 知 識 及 び 技 能 】　芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】　創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。
【学びに向かう力、人間性等】　生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目　音楽Ⅱ　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。	自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながら、よさや美しさを自ら味わって聴くことができるようにする。	主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現 歌	表現 器	表現 創	鑑賞	評価規準	知	思	態	時配数当
1学期	A 歌詞に込められた思いを感じ取りふさわしい表現を工夫しよう 【知識及び技能】 曲想と歌詞の内容を理解し、歌詞との関わりについて理解を深め、楽曲にふさわしい発声や言葉の発音の技能を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】	・発声の基本を振り返る。 ・歌詞に込められているメッセージを正しく理解する。 ・楽曲にふさわしい歌い方や表現を考える。 「糸」	○			○	A 歌詞に込められた思いを感じ取りふさわしい表現を工夫しよう 【知識及び技能】 様々な表現形態による歌唱表現の固有性や多様性について理解している。 創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、言葉の特徴をとらえ、楽曲に応じた発声などの技能を身につけ、歌唱で表している。 【思考力、判断力、表現力等】	○	○	○	10
	B　楽譜に示された作曲者の意図を読み取って表現を工夫しよう 【知識及び技能】 曲想と歌詞の内容を理解し、楽譜に示された作曲者の意図を歌唱に反映し、日本語の特性を考慮して曲にふさわしい発声の技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】	・作曲者の指示の意図を理解し、歌詞の内容を理解する。 ・日本語の発音を生かした発声を身に付ける。 ・曲にふさわしい歌い方や発声を考える。 「からたちの花」	○			○	B　ヨーロッパの歌（イタリア） 【知識及び技能】 言葉の特性と曲種に応じた発声と関わりについて理解している。 創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、楽曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身につけ、歌唱で表している。 【思考力、判断力、表現力等】	○	○	○	10
2学期	C　曲の構成やドイツ語の歌詞の内容を理解して曲想に適した表現をしよう 【知識及び技能】 ドイツ語の発音の特徴（子音、ウムラウトなど）、言葉のリズムと旋律との関わりを理解し、表現の工夫をして歌う。 【思考力、判断力、表現力等】	・曲想の異なる２つのドイツ語の曲を、それぞれの特徴を把握しながら効果的に歌い上げ、２つの曲の個性豊かな歌唱表現を創意工夫する。 「君はまるで花のよう」 「おれは鳥刺し」	○			○	C　曲の構成やドイツ語の歌詞の内容を理解して曲想に適した表現をしよう 【知識及び技能】 言葉の特性と曲種に応じた発声と関わりについて理解している。 創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、言葉の特徴をとらえ、楽曲に応じた発声などの技能を身につけ、歌唱で表している。 【思考力、判断力、表現力等】	○	○	○	12
	D　ボディー・パーカッションに挑戦しよう 【知識及び技能】 それぞれの奏者の演奏する役割をもって、互いにリズムや音の響きを感じ取りながら、手拍子のアンサンブルを楽しみ、表現の工夫をする。 【思考力、判断力、表現力等】	・易しいリズムパターンを組み合わせて、綿密なアンサンブルを構築する。 「クラッピング・カルテット 第2番」		○		○	D　ボディー・パーカッションに挑戦しよう 【知識及び技能】 曲想と楽曲の構造（手拍子で表現するリズムアンサンブル）との関わりについて理解している。 楽曲にふさわしい音色でアンサンブルを構築している。 【思考力、判断力、表現力等】	○	○	○	10
	E　オペラの歴史的背景を理解してオペラの魅力を感じ取ろう 【知識及び技能】 あらすじや登場人物と音楽との関係を理解するとともに、歴史的背景や当時の社会背景がこれらの作品に与えた影響を理解して聴く。 【思考力、判断力、表現力等】	・オペラ公演の映像を鑑賞し、物語の歴史的背景を理解するとともに、歌手の技量が発揮されるアリアやユーモラスで幸福感にあふれる二重奏を聞いて、オペラの魅力を感じ取る。 『魔笛』	○			○	E　オペラの歴史的背景を理解してオペラの魅力を感じ取ろう 【知識及び技能】 あらすじや登場人物と音楽との関係を理解している。 歴史的背景や当時の社会背景がこれらの作品に与えた影響を理解して聴いている。 【思考力、判断力、表現力等】 音色、リズム、速度、旋律、テクスチュア、強	○	○	○	8
3学期	F　平家の語りに挑戦 【知識及び技能】 日本の伝統音楽の特徴を理解して、平家の音楽表現の共通性と固有性を考える。 【思考力、判断力、表現力等】 音色、リズム、速度、旋律、強弱、構成を知覚し、それらの働きを感受	・日本の伝統音楽の特徴を理解して、平家の曲節のうち口説と中音の模範演奏を聴いて語りのまねをする。 『平家』 琵琶				○	F　平家の語りに挑戦 【知識及び技能】 日本の伝統音楽の特徴を理解して、平家の音楽表現の共通性と固有性を考えている。 【思考力、判断力、表現力等】 音色、リズム、速度、旋律、強弱、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考	○	○	○	8
	G　個性豊かに表現を工夫しながら音楽をつくろう 【知識及び技能】 音素材、サウンドピース、メロディーの骨格を表したいイメージと関らせて創作する。 【思考力、判断力、表現力等】 音色、リズム、速度、旋律、強弱、	・朗読、演劇、映像などからBGMをつける対象を選び、どの場面の曲をつけるかを決める。 ・和音のつながりを意識してメロディーを創る。 ・つくった楽曲を発表し合い、コメントをする。		○	○	○	G　個性豊かに表現を工夫しながら音楽をつくろう 【知識及び技能】 音素材、サウンドピース、メロディーの骨格を表したいイメージと関わらせて創作している。 【思考力、判断力、表現力等】 音色、リズム、速度、旋律、強弱、構成を知	○	○	○	12 合計 70

年間授業計画

高等学校 令和8年度（2学年用） 教科　芸術　科目 美術Ⅱ

教　科：芸術　科　目：美術Ⅱ　単位数：2　単位
対象学年組：第　2 学年　1 組～　7 組（3、4組を除く）
教科担当者：
使用教科書：（ 日本文教出版　高校生の美術Ⅱ ）
教科　芸術　の目標：
【知識及び技能】芸術の各科目の特性について理解し、意図に基づいて表現するための技能を身につける。
【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現を工夫したり。芸術のよさや美しさを味わうことができるようにする。
【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり芸術を愛好する心情を育てるとともに豊かな情操を培う。
科目　美術Ⅱ　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
形や色、モノなど、対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表せている。	造形的なよさや美しさを見つけたり、表現の意図に応じて創造的な工夫や美術の働きなどについて考えられている。	美術文化に親しみ、感性と美意識を高め、心豊かな生活を創造していく態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現 絵・彫	表現 デザ	表現 映像	鑑賞	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	A 単元　文化祭ポスター 【知識及び技能】アクリル絵の具や筆、ペーパーパレットなど描画材の特性を生かして、創造的に表現する 【思考力、判断力、表現力等】　目的や条件などを基に、誰のためのデザインかを考え、主題を生成し表現する	・参考作品などの鑑賞を通して、ポスターの魅力に気が付かせる ・フォントや絵の色や形、構図の効果を考え、表現する。 ・アクリル絵の具など描画材の使い方を理解し、色や形を工夫して表現する。 ・自他の作品の鑑賞 教材　絵の具（アクリル）、ケント紙、プリント、硬めの鉛筆など		○		○	【知識及び技能】アクリルなど描画材の特性を生かして、意図に応じて創造的に工夫し表現できている（作品・プリントで評価） 【思考力、判断力、表現力等】目的や条件を理解し、それらに合わせて効果的な色や形、フォントなどを選んだり、主題を決めたりなどして表現に取り組んでいる。（作品・プリ	○	○	○	30
2学期	A 単元 生物を空想して 【知識及び技能】形や色の効果、既存の生き物や器物などの特徴やイメージを捉え、表現方法を創意工夫して表す 【思考力、判断力、表現力等】空想の生き物の能力や生息場所のイメー	・参考作品などから、空想上の動物の能力や性格、生息場所について考えさせる ・対象の印象や個性を捉え、主題を生成し、スケッチをする ・スケッチをもとに、観察を深め粘土をつける ・主題を基に、用具を使い仕上げる	○			○	【知識及び技能】形や色彩の効果、既存の生き物や器物の特徴やイメージなどで空想の生物を捉えることができる 【思考力、判断力、表現力等】空想の生物の能力や生息場所のイメージを基に、個性豊かで創造的な表現の構想を練っている	○	○	○	24
3学期	A 単元　切り絵で表現する 【知識及び技能】図と地の関係や切り絵の特性を生かして、創造的に表現する 【思考力、判断力、表現力等】　目的や条件などを基に、主題を生成し表現する。 【学びに向かう力、人間性等】構想を練り、意図に応じて工夫して表現活動に主体的に取り組む。	・参考作品などの鑑賞を通して、切り絵の魅力に気が付かせる ・形、構図の効果を考え、表現する。 ・切り絵の特性を理解し、形を工夫して表現する。 ・自他の作品の鑑賞 ・教材　絵の具（アクリル）、ケント紙、プリント、硬めの鉛筆など ・一人１台端末の活用　完成作品を写真に撮り、振り返りシートを作成する。		○		○	【知識及び技能】図と地の関係や切り絵の特性を生かして、創造的に表現する 【思考力、判断力、表現力等】　目的や条件などを基に、主題を生成し表現する。 【学びに向かう力、人間性等】構想を練り、意図に応じて工夫して表現活動に主体的に取り組む。	○	○	○	16
											合計
											70

年間授業計画

高等学校 令和8年度（２学年用） 教科　芸術　科目　書道Ⅱ

教　科：　芸術　　科　目：　書道Ⅱ　　単位数：　2　単位
対象学年組：第　2 学年　1 組～　6 組
教科担当者：
使用教科書：（ 書Ⅱ光村図書 ）
教科　芸術　　の目標：　主体的に創造的な鑑賞の学習活動に取り組み、書に対する感性を豊かにし書を愛好する心情を養う
【知識及び技能】「書道Ⅰ」で学習した書道の三分野それぞれの、線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、
【思考力、判断力、表現力等】漢字の古典や仮名の古筆、創造された作品の価値と根拠、生活や社会における書の美の効用と現代的意義に
【学びに向かう力、人間性等】芸術科書道への関心・意欲を高め、主体的に創造的な鑑賞の学習活動に取り組み書に対する感性を豊かにし
科目　書道Ⅱ　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
「書道Ⅰ」で学習した書道の三分野それぞれの、線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、日本及び中国等の文字と書の伝統と文化、書の美と時代、風土、筆者などとの関わりについて理解を深める。	・漢字の古典や仮名の古筆、創造された作品の価値と根拠、生活や社会における書の美の効用と現代的意義について考え、書のよさや美しさを味わって深く捉える。	芸術科書道への関心・意欲を高め、主体的に創造的な鑑賞の学習活動に取り組み、書に対する感性を豊かにし、書を愛好する心情を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現 漢仮	表現 漢	表現 仮	鑑賞	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	⑴・各書体の線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、日本及び中国等の文字と書の伝統と文化、漢字の書の特質とその歴史、書の美と時代、風土、筆者などとの関わりについて理解を深める。 ⑵・漢字の古典の価値と根拠、生活や社会における書の美の効用と現代的意義について考え、書のよさや美しさを味わって深く捉える。 ⑶・主体的に漢字の書の創造的な鑑賞の学習活動に取り組み、書に対する感性を豊かにし、書を愛好する心情を養う。	・指導事項 ・教材 ・一人１台端末の活用　等	○			○	［表現］篆書の古典の表現形式に応じた全体の構成について構想し工夫している。 ［鑑賞］篆書の古典の価値とその根拠、生活や社会における書の美の効用と現代的意義について考え、書のよさや美しさを味わって深く捉えている。	○	○	○	8
	・篆書の古典の表現形式に応じた全体の構成について構想し工夫する。 ・篆書の古典の価値とその根拠、生活や社会における書の美の効用と現代的意義について考え、書のよさや美しさを味わって深く捉える。	① 教科書P.14「石鼓文」（大篆）を鑑賞し、小篆と比較して動きのある書風を感じ取る。		○		○		○	○	○	10
	隷書の古典に基づく効果的な表現の技能、変化や調和等による全体構成の技能を身につける。	教科書P.20「乙瑛碑」を鑑賞し、強調された波磔による重厚感のある書風を感じ取る。		○		○	［表現］隷書の古典の表現形式に応じた全体の構成について構想し工夫している。 ［鑑賞］隷書の古典の価値とその根拠、生活や社会における書の美の効用と現代的意義について考え、書のよさや美しさを味わって深く捉えている。	○	○	○	10
	・隷書の古典の表現形式に応じた全体の構成について構想し工夫する。 ・隷書の古典の価値とその根拠、生活や社会における書の美の効用と現代的意義について考え、書のよさや美しさを味わって深く捉える。	教科書、参考資料テキストを参考にして臨書する。		○		○	［表現］漢字の書を構成するさまざまな要素や、隷書の古典の特徴と用筆・運筆との関わりについて理解している。 ［鑑賞］線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、日本及び中国等の文字と書の伝統と文化、書の美と時代、風土、筆者などとの関わりについて理解を深めている。	○	○	○	8
2学期	・行書の古典に基づく効果的な表現の技能、変化や調和等による全体構成の技能を身につける。	①「集王聖教序」と「温泉銘」を比較・鑑賞し、行書の多彩な表現を感じ取る。		○		○	［表現］行書の古典の表現形式に応じた全体の構成について構想し工夫している。 ［鑑賞］行書の古典の価値とその根拠、生活や社会における書の美の効用と現代的意義について考え、書のよさや美しさを味わって深く捉えている	○	○	○	10
	・行書の古典の表現形式に応じた全体の構成について構想し工夫する。 ・行書の古典の価値とその根拠、生活や社会における書の美の効用と現代的意義について考え、書のよさや美しさを味わって深く捉える。	③「集王聖教序」における王羲之の書風の普遍的な魅力や、「温泉銘」の独特な結構、抑揚に富んだ線質から成る切れ味鋭い書風を鑑賞し、作品の特徴を理解する。		○		○	線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、日本及び中国等の文字と書の伝統と文化、書の美と時代、風土、筆者などとの関わりについて理解を深めている。 ●技能 行書の古典に基づく効果的な表現の技能、変化や調和等による全体の構成の技能を身につけている。	○	○	○	10
3学期	漢字仮名交じりの書を構成するさまざまな要素や、名筆や現代のさまざまな書の表現と用筆・運筆との関わりについて理解する。	教科書P.74-77の書作品を鑑賞し、それぞれの作品から受ける印象や、作品に表現された風景について想像したことを、グループで話し合う。	○			○	］線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、日本及び中国等の文字と書の伝統と文化、書の美と時代、風土、筆者などとの関わりについて理解を深めている。 ●技能 行書の古典に基づく効果的な表現の技能、変化や調和等による全体の構成の技能を身につけている。	○	○	○	8
	線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、漢字仮名交じりの書の特質とその歴史、書の美と時代、風土、筆者などとの関わりについて理解を深める。	教科書P.78-81の書作品を鑑賞し、「賀蘭汗造像記」「居延漢簡」「松風閣詩巻」「草書諸上座帖巻」それぞれの古典が生かされた書風や、漢字と仮名の調和、構成などを分析する。	○			○	技能 目的や用途、意図に応じた効果的な表現の技能、漢字と仮名の調和等による全体の構成の技能を身につけている。	○	○	○	6 合計 70

年間授業計画

高等学校 令和8年度（２学年用）教科　外国語　科目 英語コミュニケーションⅡ

教　科：　外国語　　科　目：　英語コミュニケーションⅡ　　単位数：　4　単位
対象学年組：第　１学年　　１組～　６組
教科担当者：
使用教科書：（ Power On English Communication Ⅱ　　）
教科　外国語　　の目標：
【知識及び技能】　外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方やコミュニケーションをとるための知識・技能を習得する。
【思考力、判断力、表現力等】　外国語を聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を適切に結び付け、コミュニケーションをとれる思考力、判断力、表現力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】　外国語によるコミュニケーションを積極的に取ろうとし、また、その能力を養おうと努力する。
科目　英語コミュニケーションⅡ　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
日常的な話題および社会的な話題について、多くの支援を活用すれば、必要な情報を聞いたり、読んだり、書いたり、話したりすることができる。	日常的な話題および社会的な話題について、基本的な語句や文を用いて、情報や考えを聞いたり読んだりし、適切に話したり書いたりすることができる。	日常的な話題および社会的な話題について、多くの支援を活用しながら、自らの外国語を聞く力、読む力、話す力（やりとり・発表）、書く力を伸ばそうとし、積極的にコミュニケーションを取ろうとする。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域 聞	読	やり取り	発表	書	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	Lesson２ Ethical Fashion 【知識及び技能】 S＋V＋O＋C［形容詞］，S＋V［使役］＋O＋C［原形不定詞］，S＋V［知覚］＋O＋C［現在分詞，原形不定詞］などの理解を基に，ファストファッションの問題点やエシカルファッションについての記事を読み取る技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 自分の好きなファッションブランドのエシカルな活動について，情報や自分の考えなどを話したり書いたりして伝えている。 【学びに向かう力、人間性等】 ファストファッションの背後にある問題やエシカルファッションについて興味を持ち，本文の内容について理解しようとしている。	左記の目標に書かれた内容を指導する。 また、教科書以外の副教材として、 ・英検分野別10分ドリル準２級 ・英単語ターゲット1200 ・Pair&Share を使用して、英検に対応する力や語彙力を強化する。	○	○	○	○	○	単元の目標を高度に達成していると考えられる場合はA,十分に達成していると考えられる場合はB,B未満はCとする。 評価の方法としては、 ・単語テスト ・発表 ・ライティング課題 ・振り返りシート ・音読課題 ・音読テスト 等を使用する。 この授業では英語によるコミュニケーションを重視するため、文法的な指導は最小限にとどめ、多くの英語に触れて、４技能５領域を伸ばすことを重点的に指導し、また、評価する。	○	○	○	27
	定期考査		○	○			○	定期考査の点数	○	○		1
	Lesson４ Vending Machines 【知識及び技能】 関係代名詞（主格），関係代名詞の非制限用法，関係代名詞（目的格）などの理解を基に，日本の自動販売機や海外のユニークな自動販売機についての記事を読み取る技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 海外のユニークな自動販売機について，情報や自分の考えなどを詳しく話したり書いたりして伝えている。 【学びに向かう力、人間性等】 日本と海外の自動販売機について興味を持ち，本文の内容について理解しようとしている。	左記の目標に書かれた内容を指導する。 また、教科書以外の副教材として、 ・英検分野別10分ドリル準２級 ・英単語ターゲット1200 ・Pair&Share を使用して、英検に対応する力や語彙力を強化する。	○	○	○	○	○	単元の目標を高度に達成していると考えられる場合はA,十分に達成していると考えられる場合はB,B未満はCとする。 評価の方法としては、 ・単語テスト ・発表 ・ライティング課題 ・振り返りシート ・音読課題 ・音読テスト 等を使用する。 この授業では英語によるコミュニケーションを重視するため、文法的な指導は最小限にとどめ、多くの英語に触れて、４技能５領域を伸ばすことを重点的に指導し、また、評価する。	○	○	○	27
	定期考査		○	○			○	定期考査の点数	○	○		1
2学期	Lesson７ Some Secrets about Colors 【知識及び技能】 関係代名詞（所有格），同格を表す接続詞that，前置詞＋関係代名詞，関係副詞whereの非制限用法などの理解を基に，色の心理効果についての記事を読み取る技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 色の心理的効果を考慮した部屋の壁の色について，情報や自分の考えなどを詳しく話したり書いたりして伝えている。 【学びに向かう力、人間性等】 色の心理的効果について興味を持ち，本文の内容について理解しようとしている。	左記の目標に書かれた内容を指導する。 また、教科書以外の副教材として、 ・英検分野別10分ドリル準２級 ・英単語ターゲット1200 ・Pair&Share を使用して、英検に対応する力や語彙力を強化する。	○	○	○	○	○	単元の目標を高度に達成していると考えられる場合はA,十分に達成していると考えられる場合はB,B未満はCとする。 評価の方法としては、 ・単語テスト ・発表 ・ライティング課題 ・振り返りシート ・音読課題 ・音読テスト 等を使用する。 この授業では英語によるコミュニケーションを重視するため、文法的な指導は最小限にとどめ、多くの英語に触れて、４技能５領域を伸ばすことを重点的に指導し、また、評価する。	○	○	○	27
	定期考査		○	○			○	定期考査の点数	○	○		1

2学期	Lesson9 Flying after Her Dreams 【知識及び技能】 譲歩を表す副詞節、no matter how[where,when]、仮定法過去完了、分詞構文(過去分詞)などの理解を基に、20世紀初頭アメリカでの女性の置かれていた社会的環境の中でどのように夢を実現していったかという記事を読み取る技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 ベシーの生涯を踏まえ、自分がなりたい職業や成し遂げたいことについて、自分だったらどう行動するがということを仮定法を使って情報や自分の考えなどを論理性に注意して詳しく話したり書いたりして伝えている。 【学びに向かう力、人間性等】 ベシー・コールマンの生涯を通じて、差別や偏見について考えを深め、本文の内容について理解しようとしている。	左記の目標に書かれた内容を指導する。 また、教科書以外の副教材として、 ・英検分野別10分ドリル準２級 ・英単語ターゲット1200 ・Pair&Share を使用して、英検に対応する力や語彙力を強化する。	○	○	○	○	○	単元の目標を高度に達成していると考えられる場合はA,十分に達成していると考えられる場合はB,B未満はCとする。 評価の方法としては、 ・単語テスト ・発表 ・ライティング課題 ・振り返りシート ・音読課題 ・音読テスト 等を使用する。 この授業では英語によるコミュニケーションを重視するため、文法的な指導は最小限にとどめ、多くの英語に触れて、４技能５領域を伸ばすことを重点的に指導し、また、評価する。	○	○	○	27
	定期考査		○	○			○	定期考査の点数	○	○	○	1	
3学期	Lesson10 To Work or Not to Work?: Humans and Robots 【知識及び技能】 過去完了進行形，be＋to 不定詞，未来完了形，insist など＋that＋S＋V［動詞の原形］などの理解を基に，各種のロボットやロボットの労働内容の変化についてについての記事を読み取る技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力】 自分が考案した生活に役立つロボットの形状や機能などについて，情報や自分の考えなどを論理性に注意して詳しく話したり書いたりして伝えている。 【学びに向かう力、人間性等】 各種のロボットやロボットの労働内容の変化について興味を持ち，本文の内容について理解しようとしている。	左記の目標に書かれた内容を指導する。 また、教科書以外の副教材として、 ・英単語ターゲット1200 ・Pair&Share を使用して、英検に対応する力や語彙力を強化する。	○	○	○	○	○	単元の目標を高度に達成していると考えられる場合はA,十分に達成していると考えられる場合はB,B未満はCとする。 評価の方法としては、 ・単語テスト ・発表 ・ライティング課題 ・振り返りシート ・音読課題 ・音読テスト 等を使用する。 この授業では英語によるコミュニケーションを重視するため、文法的な指導は最小限にとどめ、多くの英語に触れて、４技能５領域を伸ばすことを重点的に指導し、また、評価する。	○	○	○	27
	定期考査		○	○			○	定期考査の点数	○	○		1	
												合計	
												##	

年間授業計画

日本橋　高等学校 令和8年度（２学年用）　教科　外国語　科目　論理・表現Ⅱ

教　科：　外国語　科　目：　論理・表現Ⅱ　単位数：　2　単位

対象学年組：第　2 学年　1 組～　6 組

教科担当者：

使用教科書：（ MY WAY Logic and Expression Ⅱ（三省堂）　）

教科　外国語　の目標：

【知　識　及　び　技　能】外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方やコミュニケーションをとるための知識・技能を習得す

【思考力、判断力、表現力等】外国語を聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を適切に結び付け、コミュニケーションをとれる思考力、判断力、表現力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】外国語によるコミュニケーションを積極的に取ろうとし、また、その能力を養おうと努力する。

科目　論理・表現Ⅱ　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
日常的な話題や社会的な話題について、一定の支援を活用すれば、多様な語句や文を用いて、情報や考えを工夫して文章を書いて伝えることができる。	日常的な話題や社会的な話題について、一定の支援を活用すれば、自身や自身の周りのことなどについて、論理の構成や展開を工夫して詳しく伝えることができる。	日常的な話題や社会的な話題について、一定の支援を活用すれば、多様な語句や文であれば、相手の気持ちや考えを論理的に理解することができる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	読	や［話］	発［話］	書	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	Lesson 1 I Love My Country! Special Activity 友だちのことを深く知ろう	・指導事項 【話題】学校**生活・社会生活**：これまでの経験についての会話や好きな場所を紹介する表現を学ぶ。 【文法】**完了形・未来表現**：完了形や未来表現を使った文を適切に作る。 【機能】**話しかける・気持ちを伝える・質問する/事実・情報を伝える**：情報を追加したり感想を言うなどして関連する話題について会話を続ける。 【表現】 **話すこと[やりとり]**：これまでの経験について会話する。 **書くこと**：好きな場所を紹介する発表の原稿を書く。	○	○	○	○	［知識・技能］ 完了形の文を用いて、これまでの経験を話したり、発表の原稿を書いたりする技能を身に付けている。 ［思考・判断・表現］ これまでの経験について話したり、自身のことについて表現したりしている。 ［主体的に学習に取り組む態度］ これまでの経験を話したり、発表の原稿を書いたりしようとしている。	○	○	○	6
	Lesson 2 The New Wave of Sports Special Activity スポーツ大会の会場までの道案内をしよう	・指導事項 【話題】　**学校生活**：週末の予定についての会話や最新のものを紹介する表現を学ぶ。 【文法】　**助動詞・be＋to不定詞**：助動詞や、be＋to不定詞を使った文を適切に作る。 【機能】　**相づちを打つ・考えや意図を伝える・質問する／事実・情報を伝える**：情報を追加したり感想を言うなどして関連する話題で会話を続ける。 【表現】 **話すこと[やり取り]**：週末の予定について会話する。 **話すこと[発表]**：最新のものを紹介する発表をする。	○	○	○	○	［知識・技能］ 週末の予定や最新のものについて，表現し合う知識・技能を身に付けている。 ［思考・判断・表現］ 週末の予定や最新のものについて，表現し合っている。 ［主体的に学習に取り組む態度］ 週末の予定や最新のものについて，表現し合おうとしている。	○	○	○	7
	定期考査							○	○		1
	Lesson 3 The Future of Technology Special Activity 国当てクイズをしてみよう	・指導事項 【話題】　**学校生活**：印象深かった授業について話したり、贈り物について説明したりする表現を学ぶ。 【文法】　**受動態、不定詞**：受動態と、不定詞の基本用法の構造と概念を理解する。 【機能】　**相づちを打つ・質問する／事実・情報を伝える**：情報や感想などを加えて詳しく説明する表現を学ぶ。 【表現】 **話すこと[やり取り]**：印象深かった授業について話す。 **書くこと**：贈り物について説明する文章を書く。	○	○	○	○	［知識・技能］ 印象深かった授業や贈り物について，表現する知識・技能を身に付けている。 ［思考・判断・表現］ 印象深かった授業や贈り物について，表現している。 ［主体的に学習に取り組む態度］ 印象深かった授業や贈り物について，表現しようとしている。	○	○	○	7
	Lesson 4 Rediscover *Kabuki* Special Activity 小話を演じてみよう	・指導事項 【話題】　**学校生活**：日本の文化やそれを紹介するときの表現について学ぶ。 【文法】　**不定詞・知覚動詞、使役動詞**：不定詞の応用表現と、知覚、使役動詞の用法を理解し，適切に文を作ったり，表現したりする。 【機能】　**気持ちや考え、意図を伝える**：情報を追加したり感想を言う表現を学ぶ。 【表現】 **話すこと[やり取り]**：日本の文化について会話をする。 **話すこと[発表]**：日本の文化を紹介する発表をする。	○	○	○	○	［知識・技能］ 日本の文化について紹介する知識・技能を身に付けている。 ［思考・判断・表現］ 日本の文化について，表現している。 ［主体的に学習に取り組む態度］ 日本の文化について，表現しようとしている。	○	○	○	7
	定期考査							○	○		1

2学期	Lesson 5 Welcome to Our Town Special Activity 観光案内をしよう	・指導事項 【話題】　**学校生活**：道案内の表現や、地域について紹介する表現を学ぶ。 【文法】　**助動詞・受動態**：助動詞や受動態を用いた様々な文の構造や意味を理解し，必要に応じて使い分け，適切に伝える。 【機能】　**説明する・話題を発展させる・依頼する／説明する・理由を述べる**：様々な表現を用いて，話題を発展させたり、理由を述べたりする。 【表現】 **話すこと[やり取り]**：いろいろな科学技術について会話をする。 **書くこと**：社会の状況と職業についてのレポートを書く。	○	○	○	○	［知識・技能］ 科学技術や職業について，表現し合う知識・技能を身に付けている。 ［思考・判断・表現］ 科学技術や職業について、表現し合っている。 ［主体的に学習に取り組む態度］ 科学技術や職業について、表現し合おうとしている。	○	○	○	6
	Lesson 6 Experience Madagascar's Wildlife Special Activity ホテルでのトラブル解決ロールプレイをしよう	・指導事項 【話題】　学校生活：大きさを身近なものに例えたり、有名な場所を紹介する表現を学ぶ。 【文法】　**比較**：様々な比較の用法を学ぶ。 【機能】　**気持ちや考え、意図を伝える／事実・情報を伝える**：情報を追加して詳しく説明する表現を学ぶ。 【表現】 **話すこと[やり取り]**：大きさなどを身近なものに例える。 **話すこと[発表]**：世界や日本で有名な場所を紹介する発表をする。	○	○	○	○	［知識・技能］ 大きさを例えたり、場所を紹介する発表をするための知識・技能を身に付けている。 ［思考・判断・表現］ 大きさを例えたり，場所を紹介する発表をし合っている。 ［主体的に学習に取り組む態度］ 大きさを例えたり，場所を紹介する発表をしようとしている。	○	○	○	7
	定期考査							○	○			1
	Lesson 7 Can We Go and Live on Mars? Special Activity ディスカッションゲームをしよう	・指導事項 【話題】　**学校生活**：火星や、そこでの生活についての表現を学ぶ。 【文法】　**関係詞**：関係詞の用法を用いて表現する。 【機能】　**事実・情報を伝える/考えや意図を伝える**：情報を追加して詳しく説明する表現を使用する。 【表現】 **話すこと[やり取り]**：火星について会話をする。 **書くこと**：火星での生活についてのレポートを書く。	○	○	○	○	［知識・技能］ 火星やそこでの生活について，表現し合う知識・技能を身に付けている。 ［思考・判断・表現］ 火星やそこでの生活について，表現し合っている。 ［主体的に学習に取り組む態度］ 火星やそこでの生活について，表現し合おうとしている。	○	○	○	7
	Lesson 8 Language and Society Special Activity ミニディベートをしてみよう	・指導事項 【話題】　**学校生活**：旅行に行く友だちとの会話についての表現や、現実ではない状況下の発表の表現を学ぶ。 【文法】　**仮定法**：仮定法に関する様々な用法と表現を学ぶ。 【機能】　**気持ちや考え、意図を伝える／事実・情報を伝える**：情報を追加したり感想を言うなどして会話を続ける。また、現状との比較をする表現を学ぶ。 【表現】 **話すこと[やり取り]**：旅行に行く友だちとの会話をする。 **話すこと[発表]**：「もし○○がなければ」というタイトルの発表をする。	○	○	○	○	［知識・技能］ 旅行に行く友だちとの会話や、「もし○○がなければ」というタイトルの発表のための知識・技能を身に付けている。 ［思考・判断・表現］ 旅行に行く友だちとの会話や発表のために表現し合っている。 ［主体的に学習に取り組む態度］ 旅行に行く友だちとの会話や発表のために，表現し合おうとしている。	○	○	○	6
	定期考査							○	○			1
3学期	Lesson 9 Send Our Love to the World Special Activity 身近な社会問題について意見を言ってみよう	【話題】　**学校生活**：悩み事を伝えたり、社会問題についての発表原稿を書く表現を学ぶ。また、健康について説明する方法を学ぶ。 【文法】　**否定、代名詞**：否定表現や代名詞を使った様々な用法と表現を理解する。 【機能】　**事実・情報を伝える**：情報を追加したり感想を言うなどして、会話を続けたり詳しく説明したりする。 【表現】 **話すこと[やり取り]**：悩み事を伝える会話をする。 **書くこと**：社会問題についての発表原稿を書く。	○	○	○	○	［知識・技能］ 悩み事を伝えたり，社会問題について書く知識・技能を身に付けている。 ［思考・判断・表現］ 悩み事を伝えたり，社会問題について書いたりして表現し合っている。 ［主体的に学習に取り組む態度］ 悩み事を伝えたり，社会問題について書いたりして表現しようとしている。	○	○	○	6
	Lesson 10 Follow in Our Hero's Footsteps Special Activity 私たちの未来を語ろう	・指導事項 【話題】　**学校生活**：調べ学習での会話や，人物を紹介する表現を学ぶ。 【文法】　**無生物主語、thatを使った表現**：無生物主語やthatを使った様々な表現を学ぶ。 【機能】　**気持ちを伝える／事実・情報を伝える**：情報を追加したり感想を言うなどして詳しく説明する。 【表現】 **話すこと[やり取り]**：調べ学習での会話をする。 話すこと[発表]：関心のある人物を紹介するスピーチをする。	○	○	○	○	［知識・技能］ 調べ学習で会話したり，人物を紹介する知識・技能を身に付けている。 ［思考・判断・表現］ 調べ学習で会話したり、人物を紹介するために表現し合っている。 ［主体的に学習に取り組む態度］ 調べ学習で会話したり，人物紹介のために表現し合おうとしている。	○	○	○	6
	定期考査							○	○			1
												合計 70

年間授業計画

高等学校 令和8年度（２学年用） 教科　家庭　科目 家庭基礎

教　科：　家庭　　科　目：　家庭基礎　　単位数：　2　単位
対象学年組：第　2 学年　1 組～　6 組
教科担当者：
使用教科書：（ 東京書籍　家庭基礎　自立・共生・創造　）
教科　家庭　の目標：
【 知 識 及 び 技 能 】基礎的なことについて理解しているとともにそれらによる技能を身につけている
【思考力、判断力、表現力等】 生活の中から問題を見出して 課題を設定し 課題を解決する 力を身につけている
【学びに向かう力、人間性等】 共同し 自分や家庭 地域の生活の充実 向上を図るために実践しようとする
科目　家庭基礎　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生活を主体的に営むために必要な人の一生と家族 家庭及び福祉 飲食 住 消費生活環境などの基礎的なことについて理解しているとともにそれらによる技能を身につけている	生涯を通して家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだしていて 課題を設定し 解決策を構想し 実践を評価 改善し 考察したことを根拠に基づいて 論理的に表現するなどして課題を解決する力を身につけている	様々な人々と協働し、より良い社会の 構築に向けて 課題の解決に主体的に取り組んだり 振り返って改善したりして 地域社会に参画しようとするとともに 自分や家庭 地域の生活の充実 向上を図るために実践しようとしている

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	A　生涯を見通す 【知識及び技能】・人の一生について，自己と他者，社会との関わりから様々な生き方があることを理解している。・自立した生活を営むために必要な情報の収集・整理を行い，生涯を見通して，生活課題に対応し意思決定をしていくことの重要性について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】・生涯を見通した自己の生活について主体的に考え，ライフスタイルと将来の家庭生活及び職業生活について問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付ける。・生涯を見通した自己の生活について主体的に考え，ライフスタイルと将来の家庭生活及び職業生活について問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付ける。 【学びに向かう力、人間性等】・様々な人々と協働し，よりよい社会の構築に向けて，生涯の生活設計について，課題の解決に主体的に取り組んだり，振り返って改善したりして，地域社会に参画しようとするとともに，自分や家庭，地域の生活の充実向上を図るために実践する。	・指導事項 生涯を見通す 人生を展望する 目標を持って生きる ・教材 教科書 補助資料 ・一人１台端末の活用　等	A　生涯を見通す 【知識及び技能】・人の一生について，自己と他者，社会との関わりから様々な生き方があることを理解している。・自立した生活を営むために必要な情報の収集・整理を行い，生涯を見通して，生活課題に対応し意思決定をしていくことの重要性について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】・生涯を見通した自己の生活について主体的に考え，ライフスタイルと将来の家庭生活及び職業生活について問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。・生涯を見通した自己の生活について主体的に考え，ライフスタイルと将来の家庭生活及び職業生活について問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】・様々な人々と協働し，よりよい社会の構築に向けて，生涯の生活設計について，課題の解決に主体的に取り組んだり，振り返って改善したりして，地域社会に参画しようとするとともに，自分や家庭，地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。	○	○	○	6
	B　人生をつくる 【知識及び技能】・生涯発達の視点で青年期の課題を理解する。・家族・家庭の機能と家族関係について理解を深める。・家族・家庭生活を取り巻く社会環境の変化や課題について理解を深める。・家庭や地域のよりよい生活を創造するために，自己の意思決定に基づき，責任をもって行動することについて問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付ける。・家族・家庭と社会との関わりについて理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】・男女が協力して，家族の一員としての役割を果たし家庭を築くことの重要性について問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付ける。 【学びに向かう力、人間性等】・様々な人々と協働し，よりよい社会の構築に向けて，青年期の自立と家族・家庭について，課題の解決に主体的に取り組んだり，振り返って改善したりして，地域社会に参画しようとするとともに，自分や家庭，地域の生活の充実向上を図るために実践する。	・指導事項 人生をつくる 家族・家庭を見つめる これからの家庭生活と社会 ・教材 教科書 補助資料 ・一人１台端末の活用　等	B　人生をつくる 【知識及び技能】・生涯発達の視点で青年期の課題を理解している。・家族・家庭の機能と家族関係について理解を深めている。・家族・家庭生活を取り巻く社会環境の変化や課題について理解を深めている。・家庭や地域のよりよい生活を創造するために，自己の意思決定に基づき，責任をもって行動することについて問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。・家族・家庭と社会との関わりについて理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】・男女が協力して，家族の一員としての役割を果たし家庭を築くことの重要性について問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】・様々な人々と協働し，よりよい社会の構築に向けて，青年期の自立と家族・家庭について，課題の解決に主体的に取り組んだり，振り返って改善したりして，地域社会に参画しようとするとともに，自分や家庭，地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。	○	○	○	8
	定期考査						

C 衣生活をつくる 【知識及び技能】・ライフステージや目的に応じた被服の機能と着装について理解する。・被服材料について理解する。・被服構成について理解する。・被服の計画・管理に必要な技能を身に付ける。・被服衛生について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】　・被服の機能性や快適性について問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付ける。 【学びに向かう力、人間性等】・様々な人々と協働し，よりよい社会の構築に向けて，衣生活と健康について，課題の解決に主体的に取り組んだり，振り返って改善したりして，地域社会に参画しようとするとともに，自分や家庭，地域の生活の充実向上を図るために実践する。	・指導事項 被服の役割を考える 被服を管理する これからの衣生活 家族・家庭を見つめる これからの家庭生活と社会 ・教材 教科書 補助資料 ・一人１台端末の活用　等	C 衣生活をつくる 【知識及び技能】・ライフステージや目的に応じた被服の機能と着装について理解している。・被服材料について理解している。・被服構成について理解している。・被服の計画・管理に必要な技能を身に付けている。・被服衛生について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】　・被服の機能性や快適性について問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】・様々な人々と協働し，よりよい社会の構築に向けて，衣生活と健康について，課題の解決に主体的に取り組んだり，振り返って改善したりして，地域社会に参画しようとするとともに，自分や家庭，地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。	○	○	○	6
D　衣生活をつくる 【知識及び技能】・健康で快適な衣生活に必要な情報の収集・整理をする。 【思考力、判断力、表現力等】・被服の機能性や快適性について問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付ける。・持続可能な社会を目指して主体的に行動できるよう，安全で安心な生活と消費について問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付ける。 【学びに向かう力、人間性等】・様々な人々と協働し，よりよい社会の構築に向けて，衣生活と健康について，課題の解決に主体的に取り組んだり，振り返って改善したりして，地域社会に参画しようとするとともに，自分や家庭，地域の生活の充実向上を図るために実践しようとする。	・指導事項 衣生活をつくる 被服を入手する 衣生活の文化と知恵 これからの衣生活 ・教材 教科書 補助資料 ・一人１台端末の活用　等	D　衣生活をつくる 【知識及び技能】・健康で快適な衣生活に必要な情報の収集・整理ができる。 【思考力、判断力、表現力等】・被服の機能性や快適性について問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。・持続可能な社会を目指して主体的に行動できるよう，安全で安心な生活と消費について問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】・様々な人々と協働し，よりよい社会の構築に向けて，衣生活と健康について，課題の解決に主体的に取り組んだり，振り返って改善したりして，地域社会に参画しようとするとともに，自分や家庭，地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。	○	○	○	8
定期考査			○	○		1

2学期	E こどもと共に育つ 【知識及び技能】・乳幼児期の心身の発達と生活について理解する。・親の役割と保育について理解する。・乳幼児と適切に関わるための基礎的な技能を身に付ける。 ・子供を取り巻く社会環境について理解する。・子育て支援について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】・子供の健やかな発達のために親や家族及び地域や社会の果たす役割の重要性について問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付ける。・高齢者の自立生活を支えるために，家族や地域及び社会の果たす役割の重要性について問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付ける。 【学びに向かう力、人間性等】・様々な人々と協働し，よりよい社会の構築に向けて，高齢期の生活と福祉について，課題の解決に主体的に取り組んだり，振り返って改善したりして，地域社会に参画しようとするとともに，自分や家庭，地域の生活の充実向上を図るために実践しようとする。	・指導事項 こどもと共に育つ 命を育む こどもの育つ力を知る これからの保育環境 ・教材 教科書 補助資料 ・一人１台端末の活用　等	E こどもと共に育つ 【知識及び技能】・乳幼児期の心身の発達と生活について理解している。・親の役割と保育について理解している。・乳幼児と適切に関わるための基礎的な技能を身に付けている。 ・子供を取り巻く社会環境について理解している。・子育て支援について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】・子供の健やかな発達のために親や家族及び地域や社会の果たす役割の重要性について問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。・高齢者の自立生活を支えるために，家族や地域及び社会の果たす役割の重要性について問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】・様々な人々と協働し，よりよい社会の構築に向けて，高齢期の生活と福祉について，課題の解決に主体的に取り組んだり，振り返って改善したりして，地域社会に参画しようとするとともに，自分や家庭，地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。	○	○	○	7
	F 超高齢化社会をともに生きる 【知識及び技能】・高齢者を取り巻く社会環境について理解する。・高齢期の心身の特徴について理解する。・高齢者の尊厳と自立生活の支援や介護について理解する。・生活支援に関する基礎的な技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】・高齢者の自立生活を支えるために，家族や地域及び社会の果たす役割の重要性について問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付ける。 【学びに向かう力、人間性等】・様々な人々と協働し，よりよい社会の構築に向けて，高齢期の生活と福祉について，課題の解決に主体的に取り組んだり，振り返って改善したりして，地域社会に参画しようとするとともに，自分や家庭，地域の生活の充実向上を図るために実践しようとする。	・指導事項 超高齢化社会をともに生きる 超高齢・大衆長寿社会の到来 高齢者の心身の特徴 ・教材 教科書 補助資料 ・一人１台端末の活用　等	F 超高齢化社会をともに生きる 【知識及び技能】・高齢者を取り巻く社会環境について理解している。・高齢期の心身の特徴について理解している。・高齢者の尊厳と自立生活の支援や介護について理解している。 ・生活支援に関する基礎的な技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】・高齢者の自立生活を支えるために，家族や地域及び社会の果たす役割の重要性について問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】・様々な人々と協働し，よりよい社会の構築に向けて，高齢期の生活と福祉について，課題の解決に主体的に取り組んだり，振り返って改善したりして，地域社会に参画しようとするとともに，自分や家庭，地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。	○	○	○	6
	定期考査						
	G 食生活をつくる 【知識及び技能】・ライフステージに応じた栄養の特徴について理解する。・食品の栄養的特質について理解する。・食品の調理上の性質について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】・食品の調理上の性質について問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付ける。 【学びに向かう力、人間性等】・様々な人々と協働し，よりよい社会の構築に向けて，食生活と健康について，課題の解決に主体的に取り組んだり，振り返って改善したりして，地域社会に参画しようとするとともに，自分や家庭，地域の生活の充実向上を図るために実践しようとする。	・指導事項 食生活をつくる 食生活の課題について考える 食事と・食品 食生活の選択と安全 ・教材 教科書 補助資料 ・一人１台端末の活用　等	G 食生活をつくる 【知識及び技能】・ライフステージに応じた栄養の特徴について理解している。・食品の栄養的特質について理解している。・食品の調理上の性質について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】・食品の調理上の性質について問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】・様々な人々と協働し，よりよい社会の構築に向けて，食生活と健康について，課題の解決に主体的に取り組んだり，振り返って改善したりして，地域社会に参画しようとするとともに，自分や家庭，地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1

3学期	H　経済生活を営む 【知識及び技能】・消費者の権利と責任を自覚して行動できるよう消費行動における意思決定について理解する。・生活情報を適切に収集・整理する。　・消費者の権利と責任を自覚して行動できるよう契約の重要性について理解する。・消費者の権利と責任を自覚して行動できるよう消費者保護の仕組みについて理解する。・消費者の権利と責任を自覚して行動できるよう消費生活の現状と課題について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】・自立した消費者として，生活情報を活用し，適切な意思決定に基づいて行動することについて問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付ける。　・責任ある消費について問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付ける。 【学びに向かう力、人間性等】・様々な人々と協働し，よりよい社会の構築に向けて，生活における経済の計画について，課題の解決に主体的に取り組んだり，振り返って改善したりして，生活を工夫し創造し，実践しようとする。・様々な人々と協働し，よりよい社会の構築に向けて，消費行動と意思決定について，課題の解決に主体的に取り組んだり，振り返って改善したりして，生活を工夫し創造し，実践しようとする。	・指導事項 経済生活を営む 情報の収集・比較と意思決定 消費者の権利と責任 これからの経済生活 ・教材 教科書 補助資料 ・一人１台端末の活用　等	H　経済生活を営む 【知識及び技能】・消費者の権利と責任を自覚して行動できるよう消費行動における意思決定について理解している。・生活情報を適切に収集・整理できる。　・消費者の権利と責任を自覚して行動できるよう契約の重要性について理解している。・消費者の権利と責任を自覚して行動できるよう消費者保護の仕組みについて理解している。・消費者の権利と責任を自覚して行動できるよう消費生活の現状と課題について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】・自立した消費者として，生活情報を活用し，適切な意思決定に基づいて行動することについて問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。　・責任ある消費について問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】・様々な人々と協働し，よりよい社会の構築に向けて，生活における経済の計画について，課題の解決に主体的に取り組んだり，振り返って改善したりして，生活を工夫し創造し，実践しようとしている。・様々な人々と協働し，よりよい社会の構築に向けて，消費行動と意思決定について，課題の解決に主体的に取り組んだり，振り返って改善したりして，生活を工夫し創造し，実践しようとしている。	○	○	○	7
	G食生活をつくる 【知識及び技能】・健康や環境に配慮した食生活について理解する。・食品衛生について理解する。・ライフステージに応じた栄養の特徴について理解する。・おいしさの構成要素について理解する。・目的に応じた調理に必要な技能を身に付ける。・自己や家族の食生活の計画・管理に必要な技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】・食の安全について問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付ける。 【学びに向かう力、人間性等】・様々な人々と協働し，よりよい社会の構築に向けて，食生活と健康について，課題の解決に主体的に取り組んだり，振り返って改善したりして，地域社会に参画しようとするとともに，自分や家庭，地域の生活の充実向上を図るために実践しようとする。	・指導事項 食生活をつくる 食生活の課題について考える 食事と栄養・食品 これからの保育環境 ・教材 教科書 補助資料 ・一人１台端末の活用　等	G 食生活をつくる 【知識及び技能】・健康や環境に配慮した食生活について理解している。・食品衛生について理解している。・ライフステージに応じた栄養の特徴について理解している。・おいしさの構成要素について理解している。・目的に応じた調理に必要な技能を身に付けている。・自己や家族の食生活の計画・管理に必要な技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】・食の安全について問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】・様々な人々と協働し，よりよい社会の構築に向けて，食生活と健康について，課題の解決に主体的に取り組んだり，振り返って改善したりして，地域社会に参画しようとするとともに，自分や家庭，地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1
							合計 70

年間授業計画

高等学校 令和８年度（２学年用） 教科　総合的な探究の時間　科目

教　科：　総合的な探究の時間　　単位数：　1　単位
対象学年組：第　2 学年　　1 組～　6 組
教科担当者：
使用教科書：（　　）
教科　総合的な探究の時間　　の目標：　横断的・探求的な学習を通して、自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく
【知識及び技能】　課題の発見と必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探求の意義や価値を理解している
【思考力、判断力、表現力等】　自分で課題を見つけ、自分で課題を立て、情報を集め、整理分析し、自らまとめ表現している
【学びに向かう力、人間性等】　主体的・協働的に取り組もうとしているとともに、新たな価値を創造しよりよい社会を実現しようとしている

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
自分のことを知り、よりよい自分を形成する，自分とむきあう力を身につける。 ①探究課題に関する知識を身につける②探究で得た技能を日常生活の様々な場面において活用させる③探究の意義を理解させる	他者との関わりの中で、人を認め協力し合える、人とむきあう力を身につける。 ①適切に課題を設定させる ②目的に応じて手段を選択し,情報を収集する力を育てる③視点を定めて多様な情報を分析する力を育てる	課題を見つけ、解決へ導こうとする。 ①探究を通して、自己を見つめ、自分の個性や特徴に向き合う態度を育てる②自他の良さを認め特徴を生かしながら、協働しようとする意欲を育てる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
１学期	生徒がみずからの基礎学力を客観的に把握し、その向上に計画的に取り組む。	・ベネッセのスタディーサポートを利用し、基礎学力の診断と進路希望及び学習習慣の調査を行う。 ・自己の学力状況と進路希望に向けた課題を分析し理解する。 ・進路実現に向けた必要な取り組みの設計をする	【知識・技能】 学力テスト 【思考・判断・表現】 自己の学習状況とその成果を振り返り、課題を発見し、今後の学習計画を立てられる。 【主体的に学習に取り組む態度】 将来設計に意欲を持ち、積極的に取り組む。	○	○	○	6
	今年度の探究活動について理解し、準備を整える	・ガイダンスなどを通して、墨田区の現状を把握する。 ・グループごとにテーマを設定し、仮説を考える。 ・上級学校訪問を行い、自己の進路との結びつきのあるテーマを検討する。	【知識・技能】 ・ワークシート、レポート等を記入、提出する。 【思考・判断・表現】 ・墨田区の社会的課題について理解する。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・インタビューや調査に積極的に参加する。	○	○	○	8
２学期	大学や専門学校の分野について学び、希望する進路を決定する。	・オープンキャンパスへの参加や面談を通じて、自己の進路への考えを深める。	【知識・技能】 ・ワークシート、レポート等を記入、提出する。 【思考・判断・表現】 ・進路希望を踏まえて科目選択ができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・計画的に学習に取り組む。	○	○	○	7
	課題に対する研究を深める 成果物の作成をはじめる	・仮説に対する調査方法を検討、調査を実行する。 ・調査結果を整理して、結論を導く。 ・発表を行う。成果物を作成する。	【知識・技能】 ・ワークシート、レポート等を記入、提出する。 【思考・判断・表現】 ・様々なコミュニケーションスキルを実践し、グループでの活動に取り組む。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・あらたな仮説に関心を持ち、研究に積極的に参加する。				6
３学期	進路希望と関連づけた個人探究の分野を検討する 合同発表会を実施する	・インタビュー内容を反映した発表物、成果物を完成する。 ・他校を交えての発表を行う。	【知識・技能】 ・ワークシート、レポート等を記入、提出する。 【思考・判断・表現】 ・仮説に対する論理的な結論を導く。 ・効果的な発表を行う。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・成果物作成、発表をする側、聴く側において、積極的に関わりを持つ。	○	○	○	8
							合計
							35